

『細川重賢御側日記』（翻刻）

著者	西田，耕三，川口，恭子
雑誌名	熊本大学教養部紀要
巻	23(人文・社会科学編)
ページ	113-146
発行年	1988-01-31
URL	http://hdl.handle.net/2298/2704

『細川重賢御側日記』(翻刻)

西田耕三・川口恭子

永青文庫に『細川重賢御側日記』が三冊(三年分)―宝暦十二年、安永二年、安永七年)残されている。熊本藩主細川重賢、(享保三年(天明五年)の日々の行動の簡潔な記録である。以下、そのすべてを翻刻する。

一、書誌

宝暦十二年御側日記 一冊 縦二三・九糎 横二〇・六糎

表紙。横帳綴。二十六丁。標題なし。見返しに「宝暦十二ナリ」の附箋が貼布されている。本文用紙は黒色梓の木版刷り日記専用箋で、一日から晦日までの日付が印刷され、月(大・小・干支とも)を書き込むようにしたもので余白には蘭の花が描かれている。一丁十五日分。一日の記入欄の大きさは縦一〇・一糎、横二・三糎で、欄左下隅に毎日天候が記されている。記録した者の氏名は記載されていないが、筆跡から複数名によつて書かれたものと推定される。奥書なし。

安永二年御側日記 一冊 縦二三糎 横一四・五糎

表紙。四十六丁。題箋はがれ、標題なし。本文用紙は薄茶色の野線(縦一七糎 幅一・三糎間隔)が印刷されたもので、初行に「安永二年癸巳」とある。記録者については氏名なく、複数名と推定される。奥書なし。

安永七年御側日記 一冊 縦二二・八糎 横一四・七糎

表紙。三十七丁。墨付き三十四丁。題箋はがれ、標題なし。見返しに「年月不明 安永七年戊戌 重賢公御側日記」とある。安永七年戊戌は後で書き込まれたものであろう。本文用紙は安永二

年と同じく薄茶色の野線が印刷されたものである。記録者については氏名なく、複数名と推定される。奥書なし。

一、翻刻の要領は以下のとおりである。

- (1) 原本の旧字体・略字体・異字体は現行の字体に改めた。ただし固有名は原則として原本のままとした。
- (2) 送り仮名は、「而」を「て」、「者」を「は」、「茂」を「も」、「を」を「より」に改めたほかは原本通りとした。
- (3) 読みやすくするために、適宜、読点、中黒点を施し、記事内容の切れ目と考えられる箇所は一字分あけた。
- (4) 欄外にある記事は、その日の記事の末尾に「」を付して記した。
- (5) 虫喰いその他で原本が判明でない箇所には□をあてた。
- (6) 誤字、脱字あるいは意味不明の箇所はマコとした。

翻刻紹介することを許可された永青文庫にお礼を申しあげる。

宝暦十二年

正月大 乙未

一日 御規式御家中御礼等例之通

二日 五時前之御供揃にて被遊御登城○御出前御祝例之通○御弓始

○御馬始

三日 中務少輔様御礼○浅井養徳・御出入之町人・役者御礼、元日不参之御礼○御庭稻荷社御参拝、四半時之御供揃、山王・神明・三田八幡・白銀秋葉○御謡初

四日 十大夫参上、御仕舞初

晴

五日 富三郎参上、御仕舞初。四半時御供揃にて妙解院・清光院・

少林院江御仏詣

晴

六日 四時之御供揃にて水戸様江御出被遊、夫より大塚江被為入候

○夕御祝例之通

晴

七日 七半時之御供揃にて白銀江被為入候。御出前御祝例之通

晴

八日 市右衛門殿御出

晴

九日 筑前守様御出、被遊御対面

晴

十日 還御已後上野江被遊御参拝、本寛院ニも被為入

晴

十一日 七半時御供揃にて白金江被遊御出。御出前御祝。○今晚節分

ニ付御帟座之上御祝被遊

晴

十二日 四半時御供揃にて増上寺へ御参拝被遊

雪

十三日 御鑓初、御兵法初。○夕方御稽古、東北 野守

晴

十四日 御講釈初、御会始。○甚六殿御出、御対面、夕御祝例之通

晴

十五日 五時前御供揃にて御登城。○栗崎道有老御出、御療治。○中書

公・采女様・平内様・吉田栄元老・橘立庵老・一甫老・社鼠・九

郎・新之允・岩沢・存義・図大・田社・石井栄立・同栄庵被召呼、

御俳諧

晴

十六日 中嶋九郎兵衛被召出

晴

十七日 木下侯御出、御対面被遊。○御献上之品被遊御覧。○中嶋九郎

兵衛被召出

晴

十八日 七半時御供揃にて白銀御庭へ被為入

曇風立

十九日 道有老御出、御療治

晴

廿日 仲英参上

晴

廿一日 水戸様江御老中様御招請ニ付四半時之御供揃にて被遊御出

曇

廿二日 七半時之御供揃にて白銀御庭江被為入

雨

廿三日 道有老御出、御療治被遊。○陸奥守様御出、御対面被遊。○暮

より十大夫参上

廿四日 無御別条

晴

廿五日 無御別条

晴

廿六日 太冲参上。○今夜中芝柴井町失火ニ付御場所江被遊御出馬

晴

廿七日 御稽古、大社少助 采女正様 平翁 飛越卯平次、四半時御供揃にて尾州様へ御

出 士 乱。末廣小太 飛越卯平次、四半時御供揃にて尾州様へ御

廿八日 靜證院様御入、清源院様も被遊御出、御能、国栖、土蛛左助

舟弁慶 才宝吉右衛門 素袍落卯之助

晴

廿九日 七半時御供揃にて白銀御庭へ被為入

晴

晦日 仲英参上

晴

二月大 乙丑

一日 例之通今日御登城無之

雨

二日 中務少輔様・山城守様・平内殿・松菴老・道有老御出、社鼠

・存義・田社・図大・意川・栄庵参上、御俳諧有之

晴

三日 七半時御供揃にて白銀へ被遊御出

雪

四日 市右衛門殿御出

晴

五日 松平筑州様にて御転任ニ日目御祝儀ニ付、五時之御供揃にて

被遊御出

晴

六日 端午ニ付御庭稻荷社江被遊御参詣

晴

七日 七半時之御供揃にて白銀江被為入

晴

八日 無御別条

晴

九日 松平筑前守様にて將軍宣下ニ日目之御祝ニ付、五時之御供揃

にて被遊御出

曇風立

十日 無御別条

雪

十一日 道有老御出、御療治被遊。○楠右衛門殿御出、被遊御対面。○

四半時御供揃にて紀州様へ被遊御出○從御前様年始之御膳被進

十二日 道有老御出、御療治被遊○雲禎老御出、御対面被遊 晴

十三日 七半時御供揃にて白銀江被為入 晴

十四日 道有老御出、御療治被遊 晴

十五日 五半時御供揃にて被遊御登城○御下城之上御稽古、天鼓^{木下侯} 葵

上 鞍馬、天狗、伊勢守様・市右衛門殿・備後守殿御父子御出 晴

十六日 今曉八時分木挽丁三十間堀失火、一丁程焼失○今昼八時前^{寺田町三丁目} 芝田町三丁目ヨリ失火、増上寺塔中焼失、風悪敷、被遊御出馬

晴風夕雨

十七日 山城守様・一甫老御出、御乘馬相濟御俳諧有之、社岸・岩 晴

沢・存義・田社・図大・意泉・永庵被為召

十八日 五時之御供揃にて大膳大夫様江御転任并將軍宣下之三丁目 晴

御祝儀ニ付被遊御出○市右衛門殿御出

十九日 四半時之御供揃にて御場所為御見分被遊御出、直ニ中務少 晴

輔様江被為入 晴夕雨

廿日 九時分より麻布ヒカクホより出火、風並悪敷御場所へ被遊御 晴

出馬○道有老御出、被遊御療治○新錢座失火 晴

廿一日 無別条○道有老御出、御療治被遊 晴風立

廿二日 七半時之御供揃にて白銀御屋鋪江被為入、靜證院様より御 晴風立

膳被進○田安失火 晴風立

廿三日 四半時之御供揃にて今治侯江被遊 晴

廿四日 無御別条 晴

廿五日 道有老御出、御療治被遊 晴

廿六日 太冲参上、例之通 晴

廿七日 月並之御稽古、養老^{左助} 兼平 吉野静 三輪 葵上 野守 晴

當麻 墨ぬり^{卯之助} 枕物狂^{八右衛門} 比丘貞 伊勢守様・丹後守様・采女正 晴

様・平内殿・市右衛門殿・通玄老・寿命院・一甫老・中務様御出 晴

○道有老御出 晴

晴

廿八日 大蔵太輔様・大膳大夫様・大和守様・市右衛門殿御茶にて 晴

御招、栄立・栄安・九郎・新之允参上○六時過青山大膳亮様より 晴

失火 晴

廿九日 七半時之御供揃にて白銀江被為入 晴、白銀方夕雨

晦日 仲英参上例之通 晴

三月小 乙未

一日 五時之御供揃にて被遊御登城○松平民部大輔様御出、被遊御 晴

対面 晴

二日 無御別条 晴

三日 五時之御供揃にて被遊御登城 暮前雨、晴

四日 四時之御供揃にて於紀州様御老中様御招請ニ付被遊御出 晴

五日 七半時之御供揃にて白銀江被遊御出、彼御方へ甚六殿御出 晴

六日 太冲参上 晴

七日 七半時之御供揃にて白銀江被為入 晴

八日 立花左近將監様・小笠原伊勢守様・戸田五助殿・原田甚六殿 晴

御出、三井孫兵衛・意川・善朴被為召 雨

九日 無御別条 晴

十日 仲英参上 夕霽夜中□晴

十一日 七半時之御供揃にて白銀江被為入 晴

十二日 四時之御供揃にて増上寺江被遊御仏詣○御灸治被遊 晴

十三日 無御別条 晴

十四日 御稽古、野宮庄太夫、甚左衛門・半助 雷電 庄太夫・藤内・四郎 晴

次兵衛 哥あらそひ立古・小甚太 平右衛門・ 雨

十五日 五時御供揃にて被遊御登城、直ニ紀州様江被遊御出○伊勢 小雨

守様・市右衛門殿御出、御仕舞 小雨

十六日 太冲参上 雨

雨

雨

雨

十七日 四時之御供揃にて妙解院へ被遊御仏詣、白銀江も被遊御出 雨

十八日 四時之御供揃にて讀岐守様にて御転任御祝儀ニ付被遊御出 雨

十九日 五時之御供揃にて陸奥守様にて將軍宣下之為御祝儀二日目 曇

彼御方様江被遊御出

廿日 道有老御出、御療治被遊○仲英參上 曇

廿一日 松平阿波守様にて御兼任御祝儀ニ付、五半時之御供揃にて被遊御出○御出かけ、紀州様江被遊御出 晴

廿二日 四時之御供揃にて御場所為御見分被遊御出、直ニ猿町江被為入 曇

廿三日 四半時之御供揃にて阿波守様にて將軍宣下為御祝儀初日御勝手江被遊御出 晴

廿四日 月並之御稽古、源太夫平弥 俊成忠度少助 百万 自然居士左助 錦木 是界采女正様 檀風銀平 大仏供養定三郎 黒塚

李平 うつば猿吉右衛門 かミなり立古 名取川源之允、道有老御出御療治、伊勢守様・堀川様・大和守様・中務様・采女正様・

對馬守様・平内殿御父子・一甫老・吉栄元老・寿命院 晴

廿五日 五時之御供揃にて紀州様江被遊御出、夫より於阿波守様御兼任并將軍宣下之御祝儀二日目ニ付被遊御出 曇

廿六日 無御別条 雨

廿七日 松平讃州様にて御老中様御招請ニ付為御取持、四時之御供揃にて被遊御出 雨

廿八日 九時之御供揃にて大膳太夫様江被遊御出 晴

廿九日 仲英參上例之通 晴

四月大 甲子

一日 五時之御供揃にて御登城 晴

二日 無御別条 晴

三日 六半時之御供揃にて白金御庭江被為入候 晴

四日 無御別条 晴

五日 四時之御供揃にて洲崎御屋敷江被為入候、彼御方へ中務少輔様御出、社鼠・意泉・栄庵參上 曇雨

六日 五時之御供揃にて白銀御庭江被為入候 雨

七日 無御別条 雨

八日 九時之御供揃にて陸奥守様江御出 雨

九日 無御別条 晴

十日 仲英參上 晴

十一日 松平駿河守様御卒去ニ付日数三日御穩便○映心院様御一周御忌ニ付今日より明日迄於妙解院御法会御執行 晴

十二日 四時御供揃にて増上寺へ被遊御仏詣、夫より妙解院へ御仏詣被遊、白銀へも被為入○大川和尚遷化 晴

十三日 無御別条○春海座元遷化 晴

十四日 九半時御供揃にて御廻勤より直ニ鉄砲洲へ被為入○御出前道有老御出、御對面、留三郎參上被召出 曇

十五日 六半時揃にて御稽古、葛城源次 雨。月 海士 野守 小雨

十六日 太冲參上○木下侯御出、御對面 小雨

十七日 四半時御供揃にて上野江御社參、本覺院へ被為入○御獻上之品御覽被遊 曇

十八日 陸奥守様為御暇乞御出、御對面 晴

十九日 四半時之御供揃にて讀岐守様にて御祝儀三日メニ付御出 晴

廿日 還御已後上野江被遊御參拜○仲英參上 曇

廿一日 十太夫參上○大膳太夫様御出、被遊御對面 曇

廿二日 五時之御供揃にて白銀御庭へ被為入○御出かけ、織田山城守様御出ニ付御對面 曇晴

廿三日 四時之御供揃にて増上寺被遊御見分、夫より直ニ深川洲崎 曇晴

・近江守殿・平内殿・外記殿・一甫老御出○庄左衛門着、被召出

廿六日 才助被召出

廿七日 御遷座ニ付七時之御供揃ニテ増上寺へ被遊御出、御衣冠被為召 晴

廿八日 五半時之御供揃ニテ白銀へ被為入 晴白雨

廿九日 御靈屋御供養ニ付朝八時御供揃ニテ増上寺へ被遊御出、御宝塔御供養相濟候上御拜礼有之○御用有之候間明日五時御登城可被遊旨御奉書来 晴

五月小 癸亥

一日 依召五時之御供揃ニテ被遊御登城候処、御黒書院於御前以上意増上寺御普請御手伝御勤被遊候ニ付御刀被遊御拜領候○御下城より御老中様方御廻勤○御帰座之上式部初十三人之者拜領物被仰付○九太夫京都へ被遣候ニ付被召出 晴

二日 十太夫参上○御普請場江被差出候名前外之御物頭より歩段迄今日拜領物被仰付 晴

三日 仲英参上○御普請場へ被差出候者拜領物昨日故障之者共今日拜領物被仰付○同役内御場所へ被差出候跡御人少ニテ相勤候者共拜領物被仰付 曇

四日 無御別条 晴

五日 五時前之御供揃ニテ被遊御登城○御規式例之通 晴

六日 六時前之御供揃ニテ為御対客右京大夫様江被遊御出○四時之御供揃ニテ御登城前右近將監様へ被遊御出、直ニ猿町江被為入 晴

七日 十太夫参上 晴

八日 御場所御地面今日御引渡相濟○還御已後上野へ被遊御仏詣 晴

九日 市之丞被召出 晴

十日 九時之御供揃ニテ大蔵太輔様へ御茶ニテ被遊御出 晴

十一日 御暇之上使酒井左衛門尉様被為入、早速御老中様へ御廻勤 晴

十二日 四ツ時之御供揃ニテ上野被遊御参拜 晴

十三日 四時之御供揃ニテ酒井左衛門尉様江御登城前被遊御出、九ツ時前之御供揃ニテ白金江被為入、御発駕前御暇乞之御膳被進 晴

十四日 御場所江被差出候十三人之面々御城江被為召拜領物被仰付 雨晴

十五日 五時前之御供揃ニテ御登城、御帰国之御礼、御登城前從白金御使者草野兵太夫被召出○助右衛門着被召出○他所御目見御家中諸御礼、御用達被召出 晴

十六日 五時之御供揃ニテ妙解院・清光院・少林院御参拜○昼之内御拜領之御馬牽参 晴

十七日 堀丹波守様・奥田備後守殿・村上肥前守殿・田沼能登守殿御茶ニテ御出、相濟、御乗馬、此節加藤平内殿・松庵老・一甫老・肥前守殿御嫡子八郎殿御出、意仙参上 晴

十八日 中納言様・中将様御使者於長座敷被遊御逢○十太夫参上○今朝六時過御供揃ニテ為御対客右京大夫様へ御出○九時之御供揃ニテ白銀江御出○助右衛門被召出○仲英参上 晴

十九日 四時之御供揃ニテ御三家様并高松侯江被遊御出○夕方市右衛門殿御出、十太夫・留三郎父子参上 晴

廿日 五半時揃ニテ御発駕前被仰渡有之○仲英参上○堀田内膳殿・加藤平内殿・長春院・松庵老・吉田栄元老・一甫老御出御俳諧、九郎・新之允・彦太郎・意川・社胤・百庵・存義・龜成、養德被為召 晴

廿一日 四時之御供揃ニテ御老中様方御廻勤○長春院御出、於南有御対面 晴

廿二日 五半時之御供揃ニテ竜口被遊御発駕、赧御休ニテ七半時分上尾へ御止宿 晴

廿三日 六半時之御供揃ニテ上尾被遊御発駕、熊谷御休、七半時過本庄へ被遊御着座 疊晴

廿四日 五時之御供揃ニテ本庄被遊御発駕、七半時分松井田へ被遊御止宿、但板鼻御休 雨

廿五日 五時之御供揃ニテ松井田御発駕、坂本御休ニテ七時過追分江御止宿 晴

廿六日 五時之御供揃ニテ追分御発駕、望月御休ニテ七半時分和田江御止宿 雨

廿七日 六半時之御供揃ニテ和田御発駕、御昼諏訪、七半時過本山へ御止宿 晴

廿八日 五時之御供揃ニテ本山御発駕、御昼敷原、七半時分福嶋被遊御止宿○山村甚兵衛殿江御使者被進、彼御方よりも御挨拶之御使者来ル 晴

廿九日 五時之御供揃ニテ福嶋御発駕、御昼上松、八時野尻駅江被遊御着座 晴夕雨

六月大 壬辰

一日 五時之御供揃ニテ野尻駅被遊御出駕、御昼妻籠、八半時中津川駅被遊御着座 朝雨夕晴

二日 六半時之御供揃ニテ中津川被遊御出駕、大久手御昼休、七半時御嶽之駅被遊御着座、当駅より江戸・御国江之被指立御飛脚 晴

三日 六半時之御供揃ニテ御嶽被遊御出駕、鶴沼之駅御昼休、八半時過加納之駅御着座、夕七時過より岐阜川鶴匠為御覽被遊御出、翌曉八時御帰座 朝曇

四日 五時之御供揃ニテ加納之駅被遊御出駕、御昼赤坂ノ駅、七半時醒并駅御着座○御国許より之御飛脚到着 晴

五日 六半時之御供揃ニテ醒并駅被遊御出駕、御昼愛知川、七半時過守山ノ駅御着座 晴

六日 六半時ノ御供揃ニテ守山ノ駅被遊御出駕、御昼大津、七時過伏見御茶屋江御着座、例年御出入之町人は表ニテ御目見被仰付事候得共、当年より五ヶ年御儉約ニ付不被召出、京都御家来ハ例ノ通ニ召出、尤左ノ面々御居間ニテ召出、筑山一統・石井孫右衛門・

谷野太郎兵衛・井上九兵衛・上林味ト 晴夕小雨

七日 七半時ノ御供揃ニテ御乗舟、大坂江七時過御着座、尤八軒屋ヨリ地廻リノ御供ニテ御廻勤、又々御舟ニ被遊御召、七時過大坂御着 晴

八日 大坂御滞留○例年之通当所詰御礼被為受、畢て御出入之町人共同断、右相済候跡ニテ御用達□田作兵衛被召出、御手慰斗被下 昼晴七時ヨリ白雨

九日 六半時ノ御供揃ニテ大坂御出駕、御昼休西宮、七半時兵庫御着 晴

十日 五時御供揃ニテ兵庫御出駕、御昼休大蔵谷、七時過加子川御着 晴

十一日 七時ノ御供揃ニテ加子川駅御出駕、御昼休姫路、八時過室御着御湯被為召、七時御乗船、例ノ通、御船頭頭被召出、暮六時前坂越御船繫 晴夕雨

十二日 八半時分坂越被遊御出船、夕七半時分備前下津井へ御船繫被遊 海上十八里 晴

十三日 朝六時分下津井被遊御出船、伊豫岩城へ被遊御船繫 海上十七里 晴

十四日 四時分被遊御出船、伊豫奴和へ被遊御船繫 海上十九里 晴

十五日 五半時前奴和被遊御出船、七時過上ノ関へ被遊御船繫 海上十四里 白雨晴

十六日 八時分上ノ関被遊出船、七半時分霧崎御着船 晴

十七日 九時之御供揃にて霧崎被遊御発駕、七時分野つ原江被遊御着座 晴

十八日 五時之御供揃にて野津原被遊御発駕、今市御休にて七半時分久住へ被遊御着座 晴

十九日 五半時之御供揃にて久住被遊御発駕、坂梨御休、夜五時過内牧へ被遊御着座 白雨

廿日 五半時之御供揃にて内牧被遊御立、的石御休、八時過大津へ被遊御着座 白雨

廿一日 九時之御供揃にて大津被遊御発駕、七時御花畑へ被遊御着座、御規式例之通 白雨晴

廿二日 無御別条 白雨

廿三日 御家老中初御役人中一限くニ被召出、御用御聞被遊 白雨

廿四日 無御別条 白雨

廿五日 無御別条 白雨

廿六日 無御別条 晴

廿七日 四時之御供揃にて御登城○御奉行所○時習館○藤崎宮○六所宮○妙解寺○泰勝寺御出○御帰之上妙解寺・泰勝寺出仕、被遊御逢 晴

廿八日 七時過御供揃にて川尻方為御鷹野被遊御出 晴

廿九日 八時御供揃にて水前寺方為御鷹野被遊御出 雨

晦日 御用ニ付御中老・御奉行被召出 雨

七月小 壬戌

一日 御礼例之通被為受○八時御供揃にて水前寺方へ被遊御出 晴

二日 寺社御礼被為受 晴

三日 七半時之御供揃にて高橋方へ被遊御出 晴

四日 八時御供揃にて水前寺方へ被遊御出○白銀・二黄黒生是法村ニて放ル 晴

五日 七半時御供揃にて水前寺方へ被遊御出○長畑鶴是法村夜籠 晴

六日 七半時御供揃にて是法村方へ被遊御出、長畑御据揚雲雀一羽御提飼被遊○御用日ニ付例之面々被召出 晴

七日 例之通御祝被遊、御礼被為受、八時之御供揃にて宮寺方御出被遊、長畑雲雀四羽・雀一羽 晴

八日 十日ニ被為聞召善之御用今日被為聞召○竜田口より失火、町・岩立迄焼失 京

九日 限庄へ為御逗留今朝七半時之御供揃にて被遊御出 晴

十日 今日御逗留、限庄より六半時御供揃にて御鷹野 晴

十一日 限庄より六半時御供揃にて御帰座○今晚石川内右衛門着、被召出 晴

十二日 被召出 晴

十三日 六時之御供揃小嶋方御鷹 晴

十四日 四時之御供揃妙解寺御参拝、夫より泰勝寺被遊御参拝候○ 晴

例之通御役人中被召出 晴夕方雨

十五日 御祝例之通○被遊御仕舞 風雨

十六日 無御別条 晴

十七日 無御別条 晴

十八日 無御別条 曇

十九日 七半時之御供揃にて腰ノ尾方被遊御出、長畑雲雀拾羽 夕小雨

廿日 御用日ニ付例之通被召出 曇晴

廿一日 五ヶ庄御礼被為受候 晴

廿二日 野辺江被遊御出善之処雨故御延引 雨

廿三日 六半時之御供揃にて腰尾方御鷹 晴白雨

廿四日 御用日ニ付例之通被召出 晴

廿五日 無御別条 晴

廿六日 四時之御供揃妙解寺御参拝 晴

廿一日 無御別条

瞽

九月大庚申

御稽古、江口東岸居士

書

十五日 藤崎宮御祭礼今日ニ成申候ニ付式日御礼無之

十六日 四時之御供揃ニテ妙解寺へ被遊御仏詣○彦山より之使僧被

召出 晴

十七日 月並之御稽古、弓八幡源次 頼政平弥 遊行柳 巴又太郎 晴

黒塚 天鼓左助 鶴銀平 晴

十八日 八半時之御供揃ニテ川尻方へ被遊御出 晴

十九日 諸御礼被為受○泰勝寺後住阿蘇中務被召出 晴

廿日 御用日ニ付例之通 雨

廿一日 無御別条 曇

廿二日 八半時之御供揃川尻江被遊御出 小雨

廿三日 無御別条 晴

廿四日 御用日ニ付例之通 晴

廿五日 少進被召出 曇

廿六日 四時之御供揃妙解寺被遊御仏詣 曇

廿七日 七時之御供揃川尻方江御出、尾崎初御提銅 曇

廿九日 七時之御供揃川尻方被遊御出 晴

晦日 御用日ニ付例之通 晴

十月小 庚寅

一日 御礼例之通○大木舍人・堀平太左衛門江被仰渡有之○諸御礼

被為受○柏崎・車僧御稽古○御封被仰付○江戸江之御使者被召出 晴

二日 八半時之御供揃川尻方被遊御出 晴

三日 御茶御口切ニ付中務少輔様御鷹野より直ニ御出、御庭之御菊 晴

園御覽、夫より於萱書院御茶被進候事 時雨

四日 七半時之御供揃ニテ田向辺江被遊御出、七半時御帰座、無程 陰

段山辺江御出、御鷹狩被遊候事 晴

五日 四時之御供揃水前寺方江被遊御出 晴

六日 御用日ニ付例之通○式部江戸より着ニ付被召出、御家老被仰

付 晴

七日 六時之御供揃ニテ段山方被遊御出 晴

八日 八半時之御供揃川尻江被遊御出 晴

九日 七半時之御供揃田迎江被遊御出 晴

十日 御用日ニ付例之通○御封被仰付○玄猪ニ付御祝例年之通 晴

十一日 七半時之御供揃水前寺方被遊御出 晴

十二日 御灸治被遊候 晴

十三日 七半時之御供揃ニテ小嶋方被遊御出 晴

十四日 御用日ニ付例之通 晴

十五日 式日御礼例之通○諸御礼被為受○甚口衛門・源右衛門・平

左衛門へ被仰渡 晴

十六日 四時之御供揃ニテ妙解寺へ御仏詣○夕方御会読 雨

十七日 月並之御稽古、阿漕 熊坂 龍田左助 是界平弥 杜若銀 晴

平 山姥又吉郎 晴

十八日 八時之御供揃ニテ山鹿江被遊御出 晴

十九日 山鹿より五時之御供揃ニテ御近辺御鷹 曇

廿日 七時之御供揃山鹿被遊御立、朝五ツ半過熊本江御着座 晴

廿一日 無御別条 晴

廿二日 七時之御供揃西牟田・川尻方御鷹、夫より宇土へ被遊御出、 晴

夜四半過川尻江被遊御止宿 晴

廿三日 六半時之御供揃御近辺御鷹、御休川尻、夫より小嶋方江被 晴

遊御出、暮過熊本へ御着座 雨

廿四日 晴

廿七日 六時之御供揃ニテ阿蘇南郷為御逗留被遊御出、西原方御鷹 晴

狩被遊、夜六半時分大津へ被遊御止宿、御休下面松山、道法六里 晴

程 晴

廿八日 六時之御供揃ニテ大津被遊御立、的石原方御狩被遊、夜六 晴

半時分内牧へ被遊御入、御休的石、道法五里余 晴

晴風立

廿九日 内牧ニ御逗留、無御別条

十一月大 己未

一日 六半時御供揃ニて内牧被遊御立、坂梨迄之間御鷹狩被遊、夜六半時分坂梨へ被為入、直ニ御止宿、御休坊中村、道法三里程 晴
 二日 五時御供揃ニて坂梨近辺御鷹狩、但雨天ニ付九時分より被遊御出、御休坂梨原天神社、今日坂梨御逗留 雨
 三日 今日も坂梨御滞留、六半時御供揃ニて近辺被遊御鷹狩、御休牧山ノ裾 風立晴
 四日 七半時御供揃ニて坂梨被遊御立、御途中被遊御狩、七時分高森へ被為入、御休ヒノ尾峠、道法三里半程 雨
 五日 今日高森御逗留、五半時御供揃ニて且野原辺御鷹狩被遊、御休且野原ノ内 晴風立
 六日 今日も高森ニ御逗留、五時之御供揃ニて豆塚辺被遊御鷹狩、御休白川社○亥ノ日初御提飼 晴
 七日 今日も高森御逗留、五時之御供揃ニて村山村辺御狩被遊、御休城平山 晴風立
 八日 七時之御供揃ニて高森被遊御立、夜五半時分大津へ被為入、御休黒川村、道法八里程 雨
 九日 五半時之御供揃ニて大津被遊御立、面原方被遊御鷹狩、夜四分熊本へ被遊御帰着、御休北面松山、道法六里程 曇小雨
 十日 公義御誕生ニ付宮川庄兵衛為御使者被差立候ニ付被召出○御用日ニ付例之通、於江戸若君様十月廿四日御誕生 雨
 十一日 七半時之御供揃ニて西牟田方へ被遊御出 晴
 十二日 四時之御供揃ニて妙解寺江被遊御仏詣 晴
 十三日 無御別条 曇
 十四日 七半時御供揃御鷹狩 曇

十五日 例之通御礼被為受、畢て御書之御封被仰付 雨
 十六日 四時御供揃妙解寺被遊御仏詣、御帰座之上御会 晴
 十七日 御禮古能○梅枝○歌占 晴
 十八日 七半時御供揃ニて川尻方御鷹狩 雨
 十九日 竹千代様御七夜御歎之御使者宮川嘉兵衛被指立候ニ付御書之御封被仰付○御拝領御馬御披ニ付例年之通 晴
 廿日 御用日ニ付例之通 曇
 廿一日 御会読 晴
 廿二日 七時御供揃御鷹狩 時雨
 廿三日 六時御供揃御鷹狩 朝曇
 廿四日 御用日ニ付御役人被召出 晴
 廿五日 五半過御供揃ニて御鷹狩新開方 曇
 廿六日 四時御供揃妙解寺被遊御仏詣 晴
 廿七日 無御別条 雨夕晴
 廿八日 七時過之御供揃中ノ瀬方御鷹 晴
 廿九日 六時之御供揃段山方御鷹朝之内迄 晴
 晦日 御用日ニ付例之通 曇夕雪

十二月大 己丑

一日 式日御礼例之通○諸御礼被為受○御禮古、小袖曾我 籠太鼓
 二日 四時御供揃泰勝寺被遊御仏詣 雪
 三日 七半時御供揃川尻方被遊御出 曇
 四日 四半時之御供揃野方江被遊御出 曇
 五日 六時之御供揃段山方御鷹野○御用日ニ付例之通○暮より御会読 曇
 六日 無御別条 小雨
 七日 七半時之御供揃西牟田方御鷹野 曇夕晴

八日 七半時之御供揃西牟田方御鷹野

晴

九日 無御別条、七半時御供揃西牟田方御出之善之處風立御延引

風立晴

十日 六時之御供揃段山方御鷹野。御用日ニ付例之通

晴

十一日 七時之御供揃西牟田方御鷹野

晴

十二日 無御別条

雪

十三日 六時之御供揃段山方御鷹野。御煤払御祝例之通

曇

十四日 七時之御供揃二丁方御鷹野

曇

十五日 式日御礼例之通。英彦山御使僧被召出

曇

十六日 五半時御供揃妙解寺被遊御仏詣。御会説。御用日ニて候得
共被召出無之

曇

十七日 御稽古、和布苅。敦盛。野々宮又口郎。小督源次。莚上平

晴

弥。項羽。鐘馗銀平

晴

十八日 無御別条

晴

十九日 七時過御供揃著町方御鷹野

曇

廿日 御用日ニ付例之通

曇

廿一日 夕方御会

曇

廿二日 御年越例之通

曇

廿三日 七半時御供揃川尻方御鷹野

晴

廿四日 御用日ニ付例之通

晴

廿五日 無御別条

雨

廿六日 五半時之御供揃ニて妙解寺江被遊御仏詣候

曇

廿七日 七半時御供揃ニて小嶋方御鷹野

晴

廿八日 式日御礼例之通被為受。長谷川新右衛門着。付被召出。大
国右近大夫使。召出

晴

廿九日 今晚御年忘

晴

晦日 歳暮之御祝例年之通

晴

安永二年癸巳

▲正月元日 御規式・御礼等例之通 一、若殿様御使者被召出 一、
於表御連枝様方御使者被召出 一、夕御祝例之通 晴

○二日 御規式・御礼等例之通 晴

○三日 御規式例之通 一、五半時御供揃ニて西社江御参拜 一、
今晚御謠初ニ付御規式例之通 晴

○四日 五半時御供揃ニて御登城、時習館夫より妙解寺江御参拜
一、御帰之上妙解寺参上、於哥仙之御間御対面 一、神護寺御礼
被為受 一、於陽春立軒老・桂山老被召出 一、夕方御責馬 晴

○五日 五半時御供揃ニて泰勝寺江御仏詣 一、御帰之上泰勝寺参
上、於哥仙之御間被召出 晴

○六日 暁七半時御供揃ニて田迎方御放鷹 一、夕御祝例之通 晴

○七日 朝御祝例之通 一、式日御礼被為受 一、於哥仙御間大慈
寺類御礼被為受 一、於中柱御間出世之僧、其外寺社之御礼被
為受 一、御庭観音秋葉江御参拜 一、座並之御礼被為受 晴

○八日 無御別条 曇

○九日 夕方御裳濯但御しらへ被遊 一、平太左衛門奥江被召出 雨

○十日 無御別条 曇

○十一日 朝御祝如例 一、五半時御供揃ニて御放鷹 晴

○十二日 無御別条 一、節分ニ付例之通 晴

○十三日 無御別条 晴

○十四日 夕御祝例之通 夜中風雨雪、曇

○十五日 朝御祝例之通 一、式日御礼例之通 一、御用被為聞 風烈雪

○十六日 夕方御会説、於御奥 風雪

○十七日 夕方御責馬 曇

○十八日 五半時御供揃ニて為御逗留川尻江被為入 晴

- 十九日 川尻より四時御供揃にて水前寺御休にて夜四時過御帰 晴
- 廿日 御用被為聞 一、御蹴鞠 小雨
- 廿一日 無御別条 一、夕八時揃御稽古 晴
- 廿二日 五半時御供揃御放鷹 御帰殿夜六半時過 陰後雨
- 廿三日 九半時御供揃高橋方御放鷹、御出懸御乘馬 晴雨交
- 廿四日 就御用於披雲閣三伍・勘十郎被召出 一、御用 一、京 郡へ之御使者氏家甚左衛門着ニ付被召出 一、御家中乘馬高覽
- 廿五日 五半時御供揃御放鷹、御出懸御馬、御帰殿六時過 晴
- 廿六日 主水被召出 一、藪市太郎被召出、御会例之通 晴
- 廿七日 四時御供揃下瀉方御放鷹、御往来御乘馬、御帰殿七半時 晴雨交
- 廿八日 式日御礼 一、四時御供揃御放鷹、御帰殿四半時 晴
- 廿九日 御用 晴
- 二月朔日 式日御礼・諸御礼・御目見 雨
- 二日 無御別条 曇
- 三日 四時御供揃にて中ノ瀬方御放鷹 晴
- 四日 就御用主水被召出 雨
- 五日 五半時御供揃にて田迎方雉子御狩 雨晴
- 六日 御用被為聞 雨
- 七日 大社但御しらへ 一、夕方御会読 晴
- 八日 四時御供揃水前寺方御放鷹、御帰殿夜四半時過 雨
- 九日 無御別条 陰
- 十日 淨岸院様御遺骸今日熊本御通棺 晴
- 十一日 五時揃御稽古 大社 知章左五郎 三井寺 春栄源次 雨
- 十二日 鞍馬天狗 融銀平 蚊相撲 蟬山伏 ちきり木 雨
- 十三日 無御別条 雨
- 十四日 五半時御供揃中ノ瀬方御放鷹 曇
- 十五日 式日御礼例之通 一、御用被為聞 一、御家中乘馬高覽 曇
- 一、從靜證院様御拝領之雁御取分被進候を於御奥御頂戴 一、御仕舞御稽古日ニ付例之通
- 十六日 五半時御供揃にて妙解寺御仏詣 一、夕八時揃御会読 陰雨
- 一、暮過平太左衛門奥江被召出
- 十七日 無御別条 晴
- 十八日 夕八時御供揃にて段山方江被為入 晴
- 十九日 無御別条 雨
- 廿日 御用 一、夕方御蹴鞠 晴
- 廿一日 諸御礼 一、新兵衛就御用奥江被召出 晴
- 廿二日 五半時御供揃御放鷹、御出懸大福寺迄御乘馬 雨
- 廿三日 四時御供揃御放鷹 晴
- 廿四日 御用 一、於披雲閣勘十郎被召出 晴
- 廿五日 橋本源右衛門被差立ニ付於披雲閣被召出 陰
- 廿六日 五半時御供揃妙解寺御仏詣 一、就御用大里角次被召出 晴
- 一、御会読 一、夕方御調馬
- 廿七日 朝六時揃御稽古 御西行桜 同田村 二千石右十 四時 御供揃御放鷹 御帰殿七半時前 一、就御用新兵衛被召出 晴
- 廿八日 諸御礼・御目見 晴
- 廿九日 四半時御供揃御放鷹 御帰殿七半時過 陰後雨
- 晦日 御用 一、夕方御調馬 晴
- 三月朔日 式日御礼例之通 一、安宅御しらへ 一、就御用新兵 衛被召出 一、夕方御稽古 晴
- 二日 五半時御供揃にて川尻方江被為入 晴
- 三日 上巳御祝 一、節句御礼 一、就御用平太左衛門奥江被召 出 晴烈風
- 四日 御調馬 一、就御用平太左衛門奥江被召出 晴
- 五日 五時揃にて御稽古 卷絹左助 東岸居士源次 浮舟 安宅

祝言源吉 伯母酒内古 なり上り因齋

○六日 御用 一、四半時御供揃御放鷹 御帰殿八半時前

○七日 乘馬高覧、畢て騎射高覧 一、夕方御会説

○八日 五半時御供揃にて水前寺方江被為入

○九日 御目見・諸御礼 一、就御用於陽春閣主水被召出

○十日 万寿姫君様去月廿日御逝去之由今日御到来、仍て今日より
日数十日鳴物御停止

○十一日 無御別条

○十二日 御用ニ付例之通 一、御責馬

○十三日 無御別条

○十四日 御灸治

○十五日 御用例之通

○十六日 御責馬被遊候 一、就御用於陽春ニ助右衛門被召出候

「就御用於奥ニ平太左衛門被召出」

○十七日 九半時御供揃妙解寺御仏詣、直ニ御滞座

○十八日

○十九日 就御用主水・平太左衛門・市太郎被召出

○廿日 御発駕前ニ付て御一門衆・御家老被召出、其外御奉行初御
役人中被召出 一、御用日ニ付例之通 一、御発駕前ニ付被仰

渡例之通 一、九半時御供揃にて泰勝寺へ御仏詣、暫御滞座

一、御帰之上泰勝寺参上、御対面

○廿一日 五半時御供揃御登城、直ニ御奉行所ニ被為入 一、御帰

以後諸御礼・御目見被為受候

○廿二日 朝七半時揃にて御稽古 紅葉狩銀平 邯鄲 源氏供養

粟田口半右衛門 随方角小基太

○廿三日 朝四時之御供揃にて山王御社参、御衣装被召替、直ニ御

放鷹、水前寺御茶屋へ被為入、御帰殿九時過

○廿四日 御目見・諸御礼被為受 一、長岡立軒・長岡桂山於陽春被

召出、御手熨斗被下 一、御用ニ付於奥平太左衛門被召出 雨

○廿五日 八半時御供揃川向御放鷹

○廿六日 御封被仰付

○廿七日 御参覲ニ付五時熊本御発駕、八時大津駅御着 一、平太

左衛門被召出 一、為御放鷹近辺御出、黄昏御帰

○廿八日 五時御供揃大津御発駕、的石御休、御道筋御放鷹、七半

時過内牧江被為入 一、阿蘇社僧・社家被召出

○廿九日 五時御供揃内牧御発駕、坂梨御休、御道筋御放鷹、夜五

半時分久住駅御着 「御立前御郡代被召出候」

○晦日 五時御供揃久住御発駕被遊、七半比野津原江御着

○閏三月朔日 五時御供揃にて野津原御発駕、御休無、九半時分鶴

崎御茶屋へ被為入 一、当所詰御番頭長谷川七兵衛被召出、御

手熨斗被下之、其外例之通被召出、御礼済 一、御近辺御放鷹、

暮前御茶屋へ被為入

○二日 夕七半時御供揃にて被遊御乗船、但御揚場より直ニ泰宝丸

ニ被為召、御船頭頭・御船頭被召出

○三日 五半時分鶴崎御出帆、九半時分豊州深江御船繋、行程五里

帆押船 「○三日自熊府御機嫌伺之飛脚到来」

○四日 風悪敷御滞船

○五日 逆風同所御滞船

○六日 同上御滞船

○七日 同上御滞船 一、木下左衛門佐様去ル四日より深江御船繋

にて今夕彼御方様御茶屋江被為入、尤左衛門佐様より御案内ニ

付右之通、勿論左衛門佐様も御上り被成候

○八日 同所御滞船

○九日 同前、今夕御案内被仰進、左衛門佐様此御方御船へ御出被

成、夜四半時分御帰被成候、此節彼御方御家来三人帆足一弥太・

宮崎直記・矢嶋春仙被召出

○十日 同所御滞船、昼之内浜江御揚被遊

○十一日 暁八時深江御出帆被遊、七半時過竹田津御舟繋、帆押船

十七里程

晴後雨

○十二日 疾風雨、同所御滯船 一、寛延元年当所御船繫五月十七

日、当年迄二十六年ニ相成

風雨

○十三日 今日も風悪敷御滯船

雨

○十四日 四半時分竹田津御出帆、暮前防州上ノ関御船繫、舟行十

五里程 「○十四日、三月廿六日江府被差立候飛脚今夜着 一、

灘御渡海ニ付熊本へ飛脚被差立」

晴夜中雨

○十五日 雨歇、九時過防州上ノ関御出船、始終推船ニて暮前加室

ニ御船繫、舟行七里

晴

○十六日 防州加室六半時分御出船、○帆或押船、海上十九里程、

芸州御手洗夜四時分御舟繫 「○四時分豫州津和暫時汐懸、八

時分津和御出船」

晴

○十七日 朝六半前御手洗御出帆、押船帆、夜五時過備後白石御舟

繫、海上十八里

晴

○十八日 朝六半時分白石御出船、押船帆交、平嶋ニ暫汐繫、暮時

分備前牛窓ニ御船繫、海上十七里程

晴

○十九日 曉八時過牛窓御出帆、押船帆、昼八時分幡州室御着船、八

半時分二十挺立ニ被召替、御本陳名村左太夫所へ被遊御揚 晴

○廿日 朝五時御供揃ニて室御発駕被遊、御昼休姫路、暮前加子川

駅御着

晴

○廿一日 朝五半時御供揃ニて加子川御発駕被遊、御昼休大藏谷、

七半時分兵庫駅御着

陰雨

○廿二日 六時御供揃兵庫被遊御発駕、西宮御休ニて七時比大坂御

茶屋江被為入候

陰晴

○廿三日 御家中・諸町人御礼等例之通、今晚六時御供揃ニて淀川

船ニ被遊御乗船候

晴

○廿四日 夕八半時伏見ニ御着船 一、京都・伏見詰之御礼被為受

一、於表京都之寺院御对面 一、於御居間例年罷出来候者共御

礼被為受 一、春日大和守殿へ御对面

晴

○廿五日 六時御供揃ニて伏見御発駕、京都御会所へ被為入、御召

替之上御所司代様御勤、又御会所へ被為入御召替、四半時分御

会所御立 一、御休大津 一、御宿守山 十一里程 晴

○廿六日 六半時御供揃ニて守山御発駕被遊、武佐御休、暮前醒井

御止宿

晴

○廿七日 五時御供揃ニて醒井御発駕被遊、今須御休、七前墨俣御

止宿

朝小雨後陰

○廿八日 五時御供揃ニて墨俣御発駕被遊、清須御休、七半時分宮

御止宿 一、伊勢江之御代参平右衛門被召出

晴

○廿九日 六時御供揃宮御発駕、暮比御油ニ被遊御着、御昼休大浜

茶屋、十二里半六丁

晴

○四月朔日 朝六半時御供揃御油之駅御発駕、荒井御休、七半時分

浜松之駅御着、十一里余

晴

○二日 五時御供揃ニて浜松被遊御発駕、見付御休、七半時過日坂

御着、十里余

晴

○三日 五時御供揃ニて日坂御発駕、嶋田御休、夕七時分過丸子ニ

御着 一、大井川之越一人六十六文、駕台共八人、八里半十六丁

一、丸子同心長嶋團兵衛より生花差上ル 陰晴

○四日 五時御供揃ニて被遊御発駕、江尻御昼休、七時比蒲原之駅

ニ被遊御止宿 一、阿部川老入四十文、駕台共六人 雨

○五日 五時御供揃蒲原之駅御発駕被遊、御休吉原、八半時分三島

之駅御着

陰小雨

○六日 六時前御供揃ニて三嶋御発駕、箱根御休、暮過大磯御止宿、

十二里程

陰晴

○七日 五時御供揃ニて大磯御発駕、藤沢御休、五半時分河崎御止

宿、十二里程

晴

○八日 五時御供揃ニて河崎御発駕、四半時過比白銀御屋鋪ニ御着

座 一、御使者等被召出 一、御庭口より奥御屋形江被為入、

御仕廻被遊、御老中様方御廻勤

晴

○九日 五時之御供揃にて周防守様・豊後守様江為御登城前御出

一、七大夫参上 一、七半時分より奥御屋形江被為入

○十日 志水才助被召出

○十一日 昼之内若殿様御乘馬被遊御覧 一、從熊本之雇飛脚着

一、夕方靜證院様へ被為入 晴陰交白雨

○十二日 暮比隅之御屋形へ被為入 「十二日夕方若殿様被為入」

○十三日 為上使右京大夫様御入、御取持戸田五助殿御出 一、被

召出例之通 一、無程奥御屋形被為入、夫より直ニ御老中様方

御廻勤 一、七大夫参上、御仕舞 晴

○十四日 就御用波門被召出、甚助被召出 一、御献上物被遊御覧

○十五日 御參勤ニ付為御礼六半時御供揃にて御登城、御退出より

御老中様方御廻勤 雨

○十六日 夕方有馬中務少輔様御出 一、暮前より隅之御屋形へ被

為入 一、意泉参上 曇

○十七日 五半時之御供揃上野増上寺へ御出有之候 一、暮比より

靜證院様御屋形へ被為入 晴陰

○十八日 昼之内波門被召出、夕方御調馬 一、七大夫・富三郎参

上、被召出 晴

○十九日 五半時御供揃にて御三家様方被遊御廻勤、小川町江も被

為入 一、暮前より隅之御屋形江被為入 晴

○廿日 就御用波門・志水源助被召出 一、御誹諧ニ付柳生但馬守

様御出、長春・栄庵・伝佐・意泉・七大夫参上「渡辺如軒参上、

御対面被遊、昼之内若殿様被為入候」 晴陰

○廿一日 四時之御供揃にて妙解院へ御仏詣、御帰殿九時過 一、

御出前若殿様被為入 一、御帰殿之上奥御屋形へ被為入 一、

暮比より隅之御屋形へ被為入、五時比被遊御帰候 晴

○廿二日 靜證院様より太守様へ御膳被進候ニ付夕八時分より奥御

屋形へ被為入、御帰七時分 一、夕方御針被遊候 一、暮比よ

り又々奥御屋形へ被為入、御帰曉七時比 晴

○廿三日 隅之御屋形へ被為入 「廿三日弥一右衛門被指立候ニ付

被召出、御手熨斗被下之 廿三日就御用奎平被召出」 晴陰

○廿四日 夕方御物見へ被為入、御蹴鞠被遊 一、暮前より隅之御

屋形へ被為入 晴

○廿五日 昼之内奥御屋形江被為入 一、七大夫参上、被召出 晴

○廿六日 波門被召出 一、渡辺如軒参上、御対面 一、竹内長藏

参上、今日より御会談 一、暮前より隅之御屋形へ被為入 晴

○廿七日 五時之御供揃にて右京大夫様へ為御登城前被為入、龍ノ

口へも被為入 一、奥御屋形へ被為入 一、波門被召出 曇

○廿八日 六半時之御供揃にて御登城、御退出之節龍ノ口へ被為入

一、奥御屋形へ被為入 一、御用達共被召出 一、波門被召出

一、暮前より隅へ被為入 曇

「○廿九日 無御別条」

○卅日 靜證院様江被為入 一、夕方若殿様被為入候 一、暮前ヨ

リ隅御屋形へ被為入 雨

○五月朔日 六半時御供揃御登城候、直ニ竜ノ口御屋敷江被為入

一、御帰、直ニ奥御屋形ニ被為入候 一、御献上物被遊御覧 一、

若殿様御誕生之御祝今日被遊御祝 一、御夕御膳後隅之御殿江

被為入、御帰之上御蹴鞠 一、薄暮ヨリ亦隅之御殿江被為入 雨

○二日 五時御供揃にて松平右近將監様御登城前被遊御勤、龍ノ口

江被為入、暫被遊御見合、九時分より酒井修理太夫様へ被為入、

御滞座、御帰殿四時過 雨

○三日 夕八半時御供揃にて猿町江被為入 曇

○四日 堀川様御出、御蹴鞠 晴

○五日 六半時御供揃にて御登城 一、靜證院様へ被為入 一、隅

江被為入 雨

○六日 下津久馬・須佐美九太夫今日着ニ付被召出 一、夕方御蹴

鞠

(P.A.)

曇晴

○七日 五時御供揃にて

為御登城前御出 一、夕八時半時御

供揃にて松平肥後守様へ御出

晴

○八日 御前様・若殿様・清源院様・御姫様新御殿へ御入、御吸物

・御酒被進

晴

○九日 靜證院様江被為入 一、七大夫参上 一、隅江被為入

晴

○十日 九時御供揃にて松平相模守様へ被遊御出

晴

○十一日 酒井修理大夫様・安藤對馬守様・若狹守様・戸田五助殿

・河崎隼人殿御出、閑悅・意泉・七大夫・孫兵衛参上

晴

○十二日 安部監物殿・田村元雄老御出、道喜・意泉・七大夫・樓

川・雞口参上、御俳詣

雨

○十三日 靜證院様へ被為入 一、隅江被為入

晴

○十四日 若殿様より御膳被差上候ニ付御物見へ被為入 一、隅江被為入

晴

○十五日 六時半時御供揃にて御登城、御退出より直ニ靜證院様江被為入、直ニ隅江も被為入

晴

○十六日 五時御供揃にて御登城前被遊御勤、御道筋御廻勤、竜ノ口へも被為入 一、御帰殿後若殿様被為入 一、夕方御責馬被遊 一、暮前ヨリ隅之御屋形江被為入

晴

○十七日 若殿様被為入 一、隅御屋形へ被為入

晴

○十八日 今朝御責馬被遊 一、夕方より靜證院様江被為入

晴

○十九日 竹内與左衛門参上、御会誂

陰

七大夫参上

晴

○廿一日 津輕越中守様・戸田久次郎殿、意泉・七大夫・市郎兵衛

晴

・織部参上、御蹴鞠

晴

○廿二日 朝御調馬 一、就御用波門被召出 一、右同九大夫被召出 一、昼過より隅ノ御殿へ被為入

晴

○廿三日 昼之内靜證院様へ被為入 一、御蹴鞠 一、暮前隅御殿

晴

へ被為入

晴後、乘雨

○廿四日 九半時之御供揃にて妙解院御参拜、夫より少林院御滯座

雨晴

○廿五日 無御別条

晴

○廿六日 昼之内靜證院様江被為入 一、夕方御会誂 一、七半時

分より隅之御屋形江被為入

晴

○廿七日 御鞠被遊 一、夕方隅之御屋形へ被為入

晴

○廿八日 靜證院様へ被為入 一、夕方御蹴鞠被遊 一、七半時分

より隅之御屋形へ被為入

晴

○廿九日 靜證院様江被為入 一、今日日光より巢鷹二据参ル 一、今日御俳詣ニ付長春・栄庵・意泉・七大夫・雞口参上 一、暮前より仙寿院御出

晴

○晦日 無御別条「土用入」

▲○六月朔日 六時半時御供揃にて御登城、龍ノ口へも被為入 一、靜證院様へ被為入 一、御蹴鞠ニ付安藤對馬守様・同七太郎様・戸田久次郎殿御出

晴

○二日 夕方隅之御屋形へ被為入

白雨

○三日 靜證院様へ被為入 一、隅へ被為入

雨

○四日 隅江被為入

晴

○五日 朝七時御供揃にて右近將監様・豊後守様へ為御對客御出一、九半時之御供揃新橋江御出被遊候 一、就御用波門被召出

晴

○六日 御会例之通 一、太仲参上 一、御会前隅之御屋形江被為入候 一、夕方靜證院様江被為入候

晴

○七日 五時之御供揃御登城前被遊御勤候、直ニ竜ノ口御屋敷へ被為入 一、夕方御責馬被遊候 一、暮前ヨリ隅之御屋形へ被為入

晴

○八日 若殿様被為入 一、靜證院様へ被為入 一、七半比ヨリ隅之御屋形へ被為入候

晴

○九日 昼之内隅之御屋形へ被為入 一、夕方御責馬被遊候、若殿様ニも御一同ニ御責馬被遊候 晴

○十日 若殿様被為入 一、暮前隅之御殿へ被為入、御帰六半時過 晴

○十一日 靜證院様江被遊御出 晴

○十二日 四時之御供揃ニて還御後増上寺へ御参拝御出かけ、圓徹寮ニて御垂垂被為召、御帰之節同所ニて御薄肩衣ニ被為召替 晴

○十三日 御法事被為済候ニ付て惣御登城、五半時御供揃西ノ御丸江も御出仕、夕方靜證院様へ被為入、御帰五半時過 晴

○十四日 七太夫参上、昼之内御仕舞被遊、八時前より隅之御屋形江被為入 一、夕方御蹴鞠被遊 晴

○十五日 無御別条 一、夕方御蹴鞠 晴

○十六日 嘉祥ニ付御登城、御供揃六半時、從御退出、直ニ竜口邸へ被為入、御帰殿九半時過 一、御帰後御会談、太仲参上 一、暮前より隅御屋形へ被為入 白雨

○十七日 昼之内靜證院様へ被為入 一、井上河内守殿御出、御滯座 一、夕方御鞠被遊 朝雨後晴

○十八日 波門被召出 一、尾張中將様御逝去ニ付普請ハ今日一日相止、来ル廿二日迄鳴物御停止ト被仰出 「○立秋十八日未刻ニ入」 白雨

○十九日 右ニ付為御伺御機嫌五半時御供揃ニて御登城、御退出之節竜ノ口へも被為入 白雨

○廿日 上野御成之管之処雨天ニ付御延引 一、上野御仏詣被仰出 置候得共御延引 一、暮前より隅へ被為入 陰

○廿一日 夕方御調馬 一、暮前より隅之御屋形江被為入、直靜證院様江被為入、御帰五半時過 晴

○廿二日 奥村寛秀参上 晴

○廿三日 五半時御供揃ニて山王江御社参、勸理院江も被為入 一、柳生但馬守様御出御俳諧、田村玄雄老御出、意泉・七大夫・与

左衛門・存義・樓川参上 晴白雨

○廿四日 奥村寛秀参上 「曉七時分地震」 晴

○廿五日 四ツ時御供揃ニて水戸様被遊御勤、夫ヨリ松平肥前守様へ被為入、御滯座、御帰殿四ツ時 陰雨

○廿六日 五半時御供揃ニて妙解院へ被遊御仏詣、御帰殿四半時 一、昼之内靜證院様へ被為入 一、隅御屋形へ被為入 一、与左衛門参上、御会談 一、御灸治 晴

○廿七日 堀川様・若狹守様・久次郎殿・監物殿・七太郎殿・元雄老・元長老御出、御鞠、意泉・七大夫・市郎兵衛・五左衛門参上 晴

○廿八日 靜證院様へ被為入 一、御蹴鞠 一、暮前隅御屋形へ被為入、御帰殿五時過 晴

○廿九日 無御別条 一、暮時分隅へ被為入 晴

▲七月朔日 六半時之御供揃ニて御登城、龍ノ口へも被為入 一、夕方御蹴鞠 晴

○二日 御責馬 一、若殿様御入 一、夕方隅之御屋形へ被為入 曇

○三日 暮時より隅へ被為入 白雨

○四日 昼之内 靜證院様へ被為入 一、夕方御蹴鞠 一、暮前より若殿様被遊御出 晴

○五日 暮時分ヨリ隅御屋形へ被為入 陰

○六日 昼靜證院様へ被為入 一、竹大冲参上、御会三同志 一、御調馬 一、暮前ヨリ隅御屋形へ被為入 晴

○七日 六半時御供揃ニて御登城、西ノ丸へモ御登營 一、御退出、直ニ靜證院様へ被為入、夫ヨリ隅御屋形へ御玄閑ヨリ被為入、御庭伝御帰殿、右御登城前世子被為入、御対顔 一、夕方御蹴鞠 一、暮比ヨリ隅御屋形へ被為入 一、御祝、御帰之上例之通 一、暮前若殿様御入 晴

○八日 御用ニ付波門・甚助被召出 一、昼之内御仕舞被遊 一、

夕御膳後靜證院様へ被為入、夕方御蹴鞠

○九日 御蹴鞠、堀川兵部大輔様・堀田相模守様・松平内膳正様・

久留嶋信濃守様・河崎隼人殿・戸田久次郎殿聞城寺・近藤意泉
青野傳佐・利倉善佐
・喜多七太夫・葛野市郎兵衛 堀川様御兄弟朝ヨリ御出、於御庭鉄
砲御打被成候

○十日 昼之内靜證院様へ被為入 一、夕方隅之御屋形へ被為入

一、御責馬 一、暮より若殿様当時御住居之御庭御茶屋江被為入

○十一日 四半時之御供揃ニて安藤對馬守様へ御出、但御出かけ片
桐石見守様・松平隱岐守様・田村下總守様御勤、龍ノ口へも被
為入 雨風烈

○十二日 就御蹴鞠御客様安藤對馬守様・同七太良様・細川若狹守
様・織部、暮過より弥兵衛、御鞠相濟御庭江被為入、御調馬被
成御覽、暮より御酒

○十三日 就御用波門被召出 一、靜證院様へ被為入 一、隅之御
屋形へ被為入 晴

○十四日 御責馬 雨

○十五日 四時御供揃ニて増上寺・上野御仏詣、夫より直松平越前
守様へ被為入 一、御出前御祝例之通相濟、靜證院様へ被為入 曇晴

○十六日 六半時御供揃ニて妙解院・清光院・少林院へ御参拜、夫
より猿町江被為入 一、与左衛門参上、御会 一、夕方御蹴鞠
一、嶋永被召出、御鍼被遊 晴雨

○十七日 就御蹴鞠御客様松平内膳正様・久留嶋信濃守様・安藤對
馬守様御兄弟・細川若狹守様御出、七大夫参上 晴

○十八日 昼之内靜證院様へ被為入 一、暮前より隅之御屋形へ被
為入 曇小雨

○十九日 上使安部平吉殿を以御鷹之雲雀被遊御拝領候、畢て八半
時之御供揃ニて被遊御廻勤候 一、御帰殿後靜證院様へ被為入

候 「御取持戸田五助殿御出」

○廿日 隅之御屋形へ被為入 一、御蹴鞠・御俳諧ニ付兼康栄元老
御出、長春・傳佐・永庵・意泉・織部・七大夫・富三郎・市郎
兵衛・樓川参上 一、小笠原佐織・井口傳右衛門着ニ付於御居
間被召出 「善佐・新之允参上」 晴

○廿一日 七大夫参上 一、夕方御責馬 一、暮前より隅へ被為入

○廿二日 四半時之御供揃ニて大塚へ被為入、御道筋御勤

○廿三日 就御用基助被召出 一、九大夫被召出 雨

○廿四日 御蹴鞠・御俳諧ニ付堀田相模守様・松平内膳正様・久留
嶋信濃守様御出、長春・意泉・七太夫・新之丞・市郎兵衛・存
義参上 一、御責馬 晴白雨

○廿五日 昼之内靜證院様へ被為入、暮前より隅へ被為入 小雨晴

○廿六日 源右衛門被召出 一、九大夫被召出 晴

○廿七日 松平陸奥守様・柳生但馬守様・河野仙寿院御出、田村玄
雄老御出、意泉・七大夫・孫兵衛参上 晴

○廿八日 六半時御供揃ニて御登城、竜ノ口へも被為入 一、靜證
院様へ被為入 一、隅之御屋形へも被為入 晴

○廿九日 野々口勘左衛門明日出立ニ付被召出 一、御責馬 一、
九半時之御供揃ニて陸奥守様へ御出 晴

○晦日 靜證院様へ被為入 一、今夕雇飛脚着、七月十一日被差立

▲八月朔 六半時御供揃御登城、西ノ丸へモ御登營、御帰掛靜證院様
并隅御殿へ被為入、御帰座之上御祝 一、久留嶋信濃守様御出、
御蹴鞠、聞城寺・葛野市郎兵衛参上、各御鞠迄ニて其後御對顔無シ

一、黄昏隅御館へ被為入、御帰殿五半時 晴

○二日 石寺基助被召出 一、暮前隅之御屋形へ被為入 晴

○三日 靜證院様へ被為入候 一、暮比ヨリ隅之御屋形へ被為入
曇夜中雨

- 四日 從昼過妙解院・清光院御出、林宇兵衛殿葛野市郎兵衛・松下喜多七太夫・同
閑悅、御蹴鞠、從黃昏法橋雪斐被召出、席書被仰付 陰晴
- 五日 靜證院様へ被為入并隅御屋形へ被為入 雨
- 六日 靜證院様へ被為入、夫より隅御屋形へ被為入 陰晴
- 七日 御責馬被遊候 一、三國志御会読例之通、大冲参上、暮前
ヨリ靜證院様江被為入、御掃殿夜四時過 陰後雨
- 八日 今朝六時嶋永檢校被召出、奉鍼、昼之内隅御屋形へ被為入、
御掃八半過 雨
- 九日 靜證院様へ被為入 雨
- 十日 御誂諸ニ付御客様堀田相模守様・久留嶋信濃守様、長春・
養徳・七太夫・雞口 参上 雨
- 十一日 九半時之御供揃ニて八代洲河岸へ御出、御滯座 雨
- 十二日 靜證院様へ被為入 一、御蹴鞠、七太夫・市郎兵衛・權
藏参上 雨
- 十三日 若殿様被為入候 一、暮前ヨリ隅之御屋形へ被為入候 雨
- 十四日 夕方御蹴鞠 一、薄暮隅御屋形へ被為入 一、今朝世子
石小田御別荘へ被為入 晴
- 十五日 六半時之御供揃ニて両御丸へ御登城、御退出、直ニ靜證
院様、隅御屋形へ被為入、御庭口ヨリ御掃館、夕方御調馬 晴
- 十六日 四時御供揃ニて妙解院へ被遊御仏詣、夫より猿町へ被為
入 曇
- 十七日 隅より新御殿江御入 雨
- 十八日 太冲参上、御会読 一、若殿様被為入 一、暮前ヨリ隅
之御屋形へ被為入候 晴
- 十九日 昼之内靜證院様へ被為入候 一、御蹴鞠ニ付木下左衛門
佐様・織田山城守様・久留嶋信濃守様・織田丹後守様・細川若
狹守様御出、七太夫・市郎兵衛・權藏参上
- 廿日 久留嶋信濃守様・林宇兵衛殿・兼康栄元老御出、御俳諧・
御鞠、長春・永庵・意泉・七太夫・權藏参上 一、渡辺恕軒参
上 一、昼之内隅へ被為入 晴
- 廿一日 四時御供揃ニて少林院へ御参拜、御掃之節猿町江も被為
入 一、暮前ヨリ隅ノ御屋形へ被為入 曇
- 廿二日 朝例之通御責馬 一、靜證院様へ被為入 一、松平相州
様・堀田相州様・松平内膳正様・織田丹後守様御出、御俳諧、
長春・永庵・意泉・七太夫参上 雨
- 廿三日 御拝領之雲雀御披ニ付て荒井十太夫殿・秦壽命院御出
一、夕方御鞠 一、暮前より隅江被為入 雨
- 廿四日 小林左七左衛門被指立候ニ付被召出、御手熨斗被下 一、
暮比雲嶺老御出、被遊御対顔候 一、就御用源右衛門被召出 雨
- 廿五日 靜證院様江被為入 一、七大夫参上 一、隅江被為入 雨
- 廿六日 夕方御鞠被遊 一、隅江被為入 曇小雨
- 廿七日 夕方靜證院様へ被為入 一、御責馬被遊 一、今晚御月
見例年之通 晴
- 廿八日 四時之御供揃ニて松平播磨守様へ御鞠ニて被為入、御出
かけ高雲院様へも被為入 雨
- 廿九日 昼之内靜證院様へ被為入 一、暮比より隅へ被為入 雨
- ▲九月朔日 六半時前之御供揃ニて御登城、御退出より龍口へ被為入、
御掃之節直ニ靜證院様・隅へも被為入 一、御蹴鞠、久留嶋信
濃守様御出、戸田久次郎殿同上、喜多七太夫・同權藏 晴
- 二日 五半時御供揃ニて戸越御屋敷へ被為入、御掃懸猿町江も被
為入 晴
- 三日 暮より靜證院様へ被為入 雨
- 四日 御鞠被遊 一、御責馬 一、隅へ被為入 曇
- 五日 夕方御責馬 一、御蹴鞠 一、暮より隅へ被為入 晴
- 六日 四時御供揃ニて松平大膳太夫様へ被為入 雨
- 七日 暮前ヨリ隅江被為入 晴

- 八日 夕方御責馬被遊 陰
- 九日 朝六半時前御供揃にて御登城、西丸江モ御登宮、御退出、直ニ靜證院様被為入、隅御屋形へも被為入、御帰殿之上於御居間重九御祝 一、夕方御仕舞 暴雨
- 十日 暮前ヨリ隅御屋形へ被為入 晴
- 十一日 四半時之御供揃にて京極備後守様・柳生但馬守様へ御出、夫ヨリ松平奥州様へ御出被遊御滯座、夜四半時過被遊御帰殿 晴
- 十二日 靜證院様へ被為入 一、御蹴鞠、久留嶋信濃守様・若狹守様御出、聞成寺・利倉善佐・喜多七太夫・喜多權藏・葛野市郎兵衛参上 一、暮前ヨリ隅御屋形被為入 陰
- 十三日 說姫様御誕生日ニ付御祝例之通 一、昼過ヨリ隅へ被為入 一、夕方御責馬 一、暮ヨリ靜證院様江御月見ニ付被為入 晴
- 十四日 御鞠被遊 晴
- 十五日 六半時御供揃にて御登城、御退出ヨリ靜證院様江被為入、隅へも被為入 一、御蹴鞠ニ付久次郎殿御出、七大夫・市郎兵衛・權藏参上、藏田富助参上、被召出 晴
- 十六日 無御別条、隅之御屋形江被為入 一、井口傳右衛門被召出 一、夕方御責馬 「夕方若殿様被為入」 陰雨
- 十七日 昼之内靜證院様へ被為入 一、暮ヨリ隅之御屋形へ被為入 陰暮ヨリ雨
- 十八日 若殿様被為入 一、御仕舞被遊候事 風雨
- 十九日 今朝六半時御供揃にて紀州公就御発興六時御供揃にて彼方様へ被為入 晴
- 廿日 就御詳詣・御蹴鞠、長春・永庵父子・小川織部・七太夫・新之允・雞口参上 晴
- 廿一日 若殿様被為入 一、就御用昼之内波門被召出 雨
- 廿二日 靜證院様江被為入 一、暮前ヨリ隅之御屋形江被為入 晴
- 廿三日 若殿様被為入 一、就御用波門被召出候 一、夕御膳後

- 靜證院様へ被為入 一、七太夫参上、御仕舞被遊 一、暮ヨリ靜證院様へ被為入、御帰四ツ時 一、夕方御調馬 陰
- 廿四日 与左衛門参上、御会読 一、暮ヨリ隅へ被為入 陰
- 廿五日 五半時御供揃にて戸越御屋敷へ被為入 一、御帰之節痕町へも被為入 陰
- 廿六日 九時御供揃妙解院御仏詣、直ニ少林院江御滯座、御帰殿夜四半時 「○廿六日 妙解院御出前世子被為入」 陰午後雨
- 廿七日 七ツ比ヨリ靜證院様江被為入 晴
- 廿八日 荒井十太夫殿御出、聞成寺、七太夫・市郎兵衛・新之丞・永庵参上、歌仙御催被遊 陰晴
- 廿九日 就御用波門被召出 一、夕御膳後靜證院様江被為入 一、御鞠 一、暮前ヨリ隅江被為入 晴
- ▲十月朔日 六半時御供揃にて御登城、龍ノ口江も被為入、立花左近將監様へ被為入、御道筋を御勤、御帰殿四半過 晴
- 二日 暮前ヨリ隅へ被為入 晴
- 三日 七大夫・權藏参上、御稽古 一、夕方靜證院様へ被為入 雨
- 一、暮ヨリ隅へ被為入 雨
- 四日 無御別条 一、就御用波門被召出 晴
- 五日 御蹴鞠 一、夕方御調馬 晴
- 六日 若殿様被為入 一、竹太冲参上、御会読三國志 一、夕方靜證院様へ被為入 一、暮ヨリ隅江被為入 一、御帰後就御用上野吉右衛門御居間ニ被召出 雨
- 七日 四時御供揃龍ノ口邸へ被為入、直ニ八代洲河岸へ被為入、御出懸御乗馬、御帰殿九時 朝晴夕陰
- 八日 暮前ヨリ隅江被為入 陰夜雨
- 九日 四時御供揃松平播磨守様江被為入、御滯座 一、御出掛龍ノ口邸・小川町江も被為入候 晴
- 十日 松平陸奥守様・靜證院様へ御出被成、此方様ニ御庭口ヨリ御出、此節脇坂淡路守様・木下左衛門佐様・青木甲斐守様・浅井

休伯老・戸田久次郎殿御出、永庵・意泉・富助・七大夫・權藏

・孫兵衛參上

○十一日 昼之内御調馬

○十二日 就御蹴鞠聞城寺・傳佐參上、暮前隅御屋形へ被為入、御帰

殿夜五半時

○十三日 昼之内御仕舞被遊 一、夕御膳後早速靜證院様江被為入、

御帰被遊早速御仕舞被遊 一、暮前より隅之御屋形江被為入

○十四日 還御早速之御供揃にて増上寺江御仏詣 一、玄猪御祝例

年之通 一、暮より隅へ被為入

○十五日 六半時御供揃にて御登城、竜ノ口へも被為入、御帰之節

兩御屋形へ被為入

○十六日 夕方御責馬

○十七日 小沼次三郎參上、乘馬御覽 一、七大夫參上 一、暮前

より隅之御屋形へ被為入

○十八日 就御用波門被召出 一、源右衛門被召出 一、雁御拝領

ニ付上使奥津左京殿御出 一、右ニ付上使御帰後早速之御供揃
にて御登城、御老中様方御廻勤、龍ノ口江も被為入、御帰被成
直ニ靜證院様・隅之御屋形へも被為入

○十九日 五半時御供揃にて戸越御屋敷へ被為入 一、御帰掛猿町
へも被為入 小雨

○廿日 御蹴鞠・御俳諧ニ付織田丹後守様・柳生但馬守様御出、長

春・永庵・七大夫・新之丞・存義・雞口參上

○廿一日 御責馬被遊候 一、暮比より隅御屋形江被為入

○廿二日 就御用於御居間平太左衛門被召出、着ニ付て御手熨斗被

下 一、就御用源右衛門被召出 一、七ツ時御供揃にて織田丹

後守様へ被為入、御滯座

○廿三日 六半時御供揃にて松平右近將監様・松平右京大夫様御登
城前若殿様御同道にて被遊御出、龍口御屋敷へ被為入、夫より

(三〇)

小川町へ被為入、御滯座、若殿様ニは右近將監様より直ニ御帰
座「世嗣御登城前ヨリ直ニ御帰館」

○廿四日 無御別条

○廿五日 若殿様御同道被遊松平周防守様・板倉佐渡守様江御登城

前ニ御出被遊、直ニ竜ノ口御屋敷へ被為入 一、石小田へ被為
入、御帰殿夜四時過 一、若殿様ニは御勤より直ニ御帰

○廿六日 四時之御供揃妙解院へ御仏詣

○廿七日 六半時之御供揃若殿様被遊御同道、御登城前田沼主殿様

・阿部豊後守様被遊御勤候、直ニ竜ノ口御屋敷へ被為入、御帰
掛伊達遠江守様へ被為入、御滯座 「若殿様ニは御勤より直ニ

御帰」

○廿八日 昼之内御責馬被遊 一、暮比ヨリ隅之御屋形へ被為入

○廿九日 太冲參上、御会説例之通 一、就御用井口傳右衛門被召

出 一、靜證院様へ被為入、御滯座

○晦日 昼之内御責馬 一、夕方御鞠 一、暮より隅江被為入 一、

御帰之上石寺甚助被召出

▲十一月朔日 六半時御供揃にて御登城、龍ノ口江も被為入、御帰か
け靜證院様・隅之御屋形江も被為入 一、御蹴鞠ニ付久留嶋信
濃守様・石尾主馬殿御出 靄見七左衛門殿御出、葛野二郎兵衛

○二日 御俳諧ニ付伊達和泉守様・青木甲斐守様・織田丹後守様・
大久保吉十郎殿・松平主税殿・加藤登之助殿御出、長春・意泉
・七大夫・雞口參上

○三日 御拝領之雁御披ニ付荒井十大夫殿・河野仙壽院・細川宗仙

老兩御末家様御出 一、暮ヨリ隅之御屋形へ被為入 疊小雨

○四日 近々龍口御移徒ニ付、為御餞別從靜證院様御膳被進 雨

○五日 昼之内平太左衛門被召出 一、暮過より隅御屋形へ被為入

西下刻地震、晴風

- 六日 四時之御供揃にて竜ノ口御屋敷へ被為入、御帛直靜證院様へ被為入 晴 晴
- 七日 暮前より隅之御屋敷へ被為入 晴
- 八日 昼之内御責馬被遊候 一、八半時之御供揃にて猿町へ被為入 晴
- 九日 就御用井口傳右衛門被召出 晴
- 十日 四時御供揃にて龍口邸へ被為入、御帛懸靜證院様へ被為入 晴
- 十一日 五時御供揃にて龍口邸御移徙、御前様・說姫様ニハ六時御供揃にて御移遷、御略式之御祝被遊、相濟、御家老初着座已上被召出 一、若殿様被為入 晴 晴
- 十二日 無御別条 晴
- 十三日 若殿様被為入 一、今月御三ツ目之御祝儀於御奥御規式有之 一、御作事掛之面々拜領物被仰付 晴 晴
- 十四日 無御別条 晴
- 十五日 六半時御供揃にて若殿様御同道にて御登城、若殿様初て御目見被仰上 一、御退出之節御老中様方御同道にて御廻勤 一、御帛殿之上御居間にて御父子様御盃事御祝儀有之、相濟、於御奥御三所様御一同御祝有之 一、表向松平陸奥守様を初御客様御規式有之 晴
- 十六日 就御用平太左衛門被召出 一、夕七時之御供揃にて松平陸奥守様江被遊御出 晴 晴
- 十七日 就御用平太左衛門被召出 晴
- 十八日 五半時御供揃にて白銀江被為入 「十八日米田波門明十九日罷立候ニ付被召出」 晴 晴
- 十九日 四時御供揃にて石小田江被為入 晴
- 廿日 無御別条 晴
- 廿一日 長谷川太郎兵衛殿御出、於小書院御対面 一、九時御供揃にて白銀江被為入 晴

- 廿二日 四時御供揃にて松平陸奥守様へ被為入 晴
- 廿三日 四時御供揃にて白金へ被為入 晴
- 廿四日 無御別条 晴
- 廿五日 四ツ時御供揃にて石小田へ被為入 一、松平相模守様石小田ニ御出 晴
- 廿六日 無御別条 晴
- 廿七日 四時御供揃にて紀州様・水戸様へ被遊御出、直ニ小川町江被為入 晴
- 廿八日 四時御供揃にて白銀へ被為入 「夜四時過地震」 晴
- 廿九日 無御別条 晴
- ▲十二月朔日 五時御供揃にて御登城、御退出より山王江御社参 一、御誹諧ニ付青木甲斐守様・松平主税殿御出、長春・意泉・七太夫・存義・樓川・雞口参上 雨
- 二日 四半時過御供揃にて清光院へ被為入、御滯座 「夜四時前地震」 雨昼より晴
- 三日 六時前御供揃にて田沼様へ為御対客御出 晴
- 四日 七半時御供揃にて白銀へ被為入候事 晴
- 五日 無御別条 晴
- 六日 夜四半時過小傳馬町出火、曉七時鎮、同九半時分濱町出火、八時鎮 晴
- 七日 今朝御作事所失火、無程鎮 晴
- 八日 石町出火 一、太冲参上、御会 晴
- 九日 曉七半時御供揃にて石小田へ被為入 晴
- 十日 無御別条 晴
- 十一日 九時御供揃にて陸奥守様へ被為入 雪
- 十二日 夕方仙寿院御出 雪
- 十三日 五時御供揃にて讃州様江被遊御出 晴
- 十四日 無御別条 晴
- 十五日 五時御供揃にて御登城 一、御退出之上松平左兵衛佐様 晴

へ御出

○十六日 夕方太冲参上、御会読

晴

○十七日 御調馬

晴

○十八日 四時御供揃にて松平右近將監様御登城前被遊御勤、御帰

晴

殿四半過 一、就御用於塔焉閣平太左衛門被召出

晴

○十九日 今晩七半時之御供揃にて白金へ被為入

晴

○廿日 無別条

晴

○廿一日 今朝六時之御供揃にて白金へ被為入

晴

○廿二日 今晩七半時御供揃にて戸越へ被為入

晴

○廿三日 四半時揃にて諸御礼被為受

晴

○廿四日 太冲参上、御会例之通 一、節分ニ付御祝例之通

晴

○廿五日 今晩七半時之御供揃にて石小田へ被為入

晴

○廿六日 四半時之御供揃にて妙解院御仏詣

晴

○廿七日 無御別条

晴

○廿八日 五時前之御供揃にて御登城、御帰殿無程御供揃にて白金

晴

へ被為入

晴

○廿九日 無御別条

晴

○晦日 平太左衛門・吉田孫大夫・井口傳右衛門被召出 一、御祝

晴

例之通

安永七年戊戌

▲正月元日 御祝例之通、終日御出座無シ、表御礼例之通、板床御間

にて御出入諸町人御礼例之通、夕御祝例之通

朝疊後晴暖氷無シ夜小雨

○二日 五時前御供揃御登城 一、御出掛於表海三天御拝、御帰懸

御献上物御覽 一、朝御祝、御帰リ之上被遊御祝 一、御供不

散御老中御廻勤、御帰掛御馬・御弓・御鐘初等例之通 一、夕

御祝例之通、御出座無シ

朝疊後晴暖氷無シ

(三二)

○三日 細川若狹守様・細川和泉守様御出、於表海御対面御盃事

一、表元日不参御礼被為受 一、表独礼已下元日不参之者共座

並御礼被為受、一、於板床之御間御出入御役者・同諸町人御礼

被為受 一、御庭稻荷御参拜 一、四ッ御供揃にて山王・神明

へ御社参 一、朝御祝例之通、御出座無 一、夕御祝御出座無

シ 一、夕方御實馬 一、今晩御諺初ニ付例之通 一、靜證院様

御側付之面々御礼被為受

晴朝霜氷寒

○四日 御實馬 一、九時御供揃三田御社参、夫より白金江被為入、

御庭秋葉稻荷御参詣

晴霜氷寒風

○五日 河野仙寿院御出、塔焉にて御対面

晴霜氷

○六日 御實馬 一、御出入之寺社御礼、靜證院様御側付御礼被為

受 一、七大夫参上、御仕舞初 一、四半御供揃御廻勤、小川

町江御出 一、御帰之上富三郎参上、御仕舞初 一、夕御祝、

御帰之上例之通、御出座無 一、暮より若殿様御出 一、紀州様

・水戸様江御出

晴氷

○七日 七種之御祝例之通 一、四時御供揃にて尾州様其外御廻勤

一、夕七半揃 高砂 東北 岩船 末広 福神 晴氷

○八日 四半御供揃下谷方御廻勤 一、御出前御實馬 一、節分ニ

付表海御間御出座例之通

晴霜氷

○九日 四半御供揃妙解院・少林院・清光院御参詣、御道筋御廻勤

晴霜氷

○十日 還御後上野御参詣 一、暮比ヨリ戸田久次郎殿・最上内膳

殿・狩野栄川老御出 晴霜氷

○十一日 御祝於表海例之通 一、御實馬

晴霜氷

○十二日 四時御供揃にて増上寺御参詣 一、夕方御誹詣

○十三日 御供唯今揃にて九ッ過小川町江被為入 一、清操院様御

病氣之処亥ノ下刻被遊御逝去、大守様二十日之御忌中 一、若殿

様十日之御忌中

霜氷無暖

○十四日 無御別条

陰霜氷無暖

○十五日 無御別条

朝五ツ比・暮比地震、夜中ヨリ雨

○十六日 御会、太仲参上

朝曇屋より晴

○十七日 無御別条

右同暖

○十八日 無御別条

朝曇後晴暖霜有水無

○十九日 暮比御供揃にて小川町江被為入

朝晴曇曇

○廿日 無御別条

晴陰暖

○廿一日 無御別条

終日曇屋之内暫晴又小雨

○廿二日 無御別条

朝より曇夕ヨリ雨

○廿三日 無御別条

「昼之内雷声、夜六半比地震」

○廿四日 若殿様暮過より被為入

朝曇後晴夜ニ入風

○廿五日 無御別条

夜四過地震、晴陰

○廿六日 御会、太仲参上

晴

○廿七日 無御別条

晴

○廿八日 無御別条

朝之内雪終日曇

○廿九日 昼之内奥村寛秀鸞被召出

晴夕夜烈風

○晦日 森養春院御出、於塔焉御対面

晴曇夜雨

○二月朔日 無御別条

朝ヨリ雨夜中風強シ

○二日 無御別条

朝曇後晴霜水

○三日 無御別条 御忌明

晴霜水暖

○四日 夕方御蹴鞠

晴曇夜雨

○五日 昼之内平太左衛門被召出

晴曇朝小雨

○六日 諸御礼被為受

一、平太左衛門被召出、九半御供揃白金江

被為入、御道筋御勤有之

曇朝之内小雪

○七日 夕方御賣馬

一、雲伯老御出、塔焉ニ御通

○八日 夕方御誹諧、長春・存義参上

晴霜水

○九日 昼之内平太左衛門被召出

一、夕方森養春院御出、於塔焉

御対面

○十日 御献上物御覽 一、末松左助御用 一、夕方三井孫兵衛参

上、於鸞嘯席書

○十一日 夕方富三郎参上

晴陰

○十二日 御賣馬 一、増上寺御拜礼、廓傳密江も被為入、御滯座

被遊候処八半過石町より失火、大火相成候付暮比御帰 晴夕風

○十三日 無御別条

晴

○十四日 御賣馬 一、清右衛門参上 一、御用にて昼比平太左衛

門・備前塔焉ニ被召出

晴

○十五日 五時前御供揃御登城 一、御帰座之上吉海市之允塔焉被

召出 一、九時御供揃石小田被為入 晴曇夜八半比より雨

○十六日 備前被召出 一、御会、大仲・七太夫参上

雨

○十七日 御献上之品御覽 一、八半御供揃にて松平筑前守様江被

為入、無程御帰リ 昼比迄雨曇

○十八日 松平右近監様・松平右京大夫様御登城前被遊御出候 一、

平太左衛門被召出 一、夕方御賣馬 晴

○十九日 朝六時過之御供揃にて御出、紀州様白金へ被為入、御帰

夜四時前 晴

○廿日 九ツ御供揃にて上野へ被遊御拜礼、直ニ本覺院へ被為入、

御滯座、御俳諧ニ付戸田久次郎殿・堀本一甫老・桂川甫周老御

出、長春・閑悦・意泉・七太夫・清右衛門・存義・樓川・雞口

・葵足参上 薄霜晴暖

○廿一日 朝飯後御馬被為召、四ツ御供揃にて靴町へ被為入管之処

御延引 一、御所旁ニ付仙寿院・養春院・雲伯老御出、暮より靜

證院様・若殿様・清源院様被為入「雲伯老今晚より御宿」 晴

○廿二日 仙寿院・雲伯老御出 「廿二日浅井養徳参上」

夜中雨陰

○廿三日 仙寿院・雲伯老御出 一、紀州様より御使、浅井養徳参

上、同被仰付 一、養春院御出 晴陰

○廿四日 雲伯老昨夜より被滞、昼之内伺、夜ニ入伺、雲亮老伺

一、暮より若殿様被為入

朝之内寒雪

○廿五日 雲伯老昨夜より御滞、朝飯後伺ヒ、一、夕方仙壽院御出、

御伺ヒ、養春院御出、御伺ヒ

○廿六日 雲伯老昨夜より御滞、朝五ツ前御伺ヒ、夕方仙壽院御出、

御伺ヒ

晴霜

○廿七日 雲伯老昨夜御泊リ、朝五ツ時過御伺ヒ

朝より曇夕方より雨

○廿八日 雲伯老伺、夕方仙壽院・養春院御出、御伺

○廿九日 雲伯老朝夜御伺

朝より雨

○晦日 朝夜雲伯老御伺、昼之内仙壽院御出

雨天

▲三月朔日 朝雲伯老御伺、昼良策老御出、夜雲伯老御伺

朝曇後晴風

○二日 朝夜雲伯老御伺

朝曇後晴

○三日 朝夕雲伯老御伺、夕方養春院御出、片山元筑御使

一、御

與ニて御祝

朝曇昼より雨

○四日 朝昼晚雲伯老伺、夕方仙壽院御出

朝曇後晴

○五日 靜證院様被為入、朝夕雲伯老伺

一、暮より若殿様被為入、

暖陰晴

○六日 朝夜雲伯老御伺、片山元筑伺

「夜霰」

○七日 仙壽院・雲伯老御伺

晴

○八日 朝夕雲伯老御伺、紀州様御医師近藤良三伺

陰雨

○九日 養春院・雲伯老御伺、片山元筑伺

一、靜證院様・若殿様

被為入、御滞留

「暮過對馬守様御出、仙壽院御伺」

○十日 仙壽院・雲伯老御伺

一、若殿様御帰

○十一日 養春院・雲伯老御伺

朝曇後晴

○十二日 仙壽院・雲伯老御伺、片山元筑伺

一、若殿様被為入

○十三日 雲伯老・讚州様御医師杉原養甫伺

曇晴

曉より雪寒後雨暮比より晴

○十四日 仙壽院・雲伯老御伺

一、靜證院様御帰

一、若殿様御

歩行御願被為濟、昼之内被為入

「夕七ツ半過地震」

○十五日 養春院・雲伯老伺

曇晴

○十六日 仙壽院・雲伯老御伺

一、夕方讚州様御医師菊池朔元参

上、伺被仰付

快晴

○十七日 雲伯老伺

曇

○十八日 雲伯老御伺

雨

○十九日 渡辺立軒老・雲伯老御伺

曇

○廿日 仙壽院・雲伯老御伺

「昼之内御髭被遊」

○廿一日 昼之内御腰湯被遊

雨

○廿二日 仙壽院・養春院・雲伯老御伺

一、夕方若殿様被為入

○廿三日 雲伯老御伺

晴暖

○廿四日 雲伯老御伺

晴

○廿五日 嗒焉御作事ニ付鸞嘯へ被為入

一、雲伯老御伺

○廿六日 雲伯老御伺

一、對馬守様御出、御對面

○廿七日 昼之内若殿様被為入

朝霧後曇晴

○廿八日 雲伯老御伺

陰雨

○廿九日 仙壽院・雲伯老御伺

一、片山元筑伺

○四月朔日 朝夕雲伯老御伺

寒晴

○二日 雲伯老伺、夕方養春院御出

晴

○三日 雲伯老御伺

一、御腰湯

○四日 小川町より為御見廻杉原養甫被進

一、暮より若殿様被為

入

暖朝曇後晴

○五日 石寺甚助今日着、今晚於鸞嘯召出

一、雲伯老御伺

○六日 雲伯老御伺

一、御湯被為召

○六日 雲伯老御伺

一、御湯被為召

○六日 雲伯老御伺

一、御湯被為召

- 七日 雲伯老御伺 朝曇昼より晴
 ○八日 雲伯老伺 晴
 ○九日 若殿様暮過より被為入 一、吉海市之允明日罷立候付今晚 晴曇
 於鸞嘯召出
 ○十日 御月代被遊 一、養春院御出 晴
 ○十一日 雲伯老御伺 雨
 ○十二日 雲伯老御伺 晴
 ○十三日 雲伯老御伺 晴
 ○十四日 靜證院様被為入 一、雲伯老御伺 陰雨
 ○十五日 雲伯老御伺 朝雨已刻より晴
 ○十六日 雲伯老伺 晴
 ○十七日 雲伯老伺 陰雨後晴
 ○十八日 雲伯老伺 陰雨
 ○十九日 雲伯老御伺 一、仙寿院御出、御伺、暮比より孫兵衛參 終日曇昼比小雨
 上 朝曇昼より晴
 ○廿日 雲伯老御伺
 ○廿一日 雲伯老伺 朝曇昼より晴
 ○廿二日 雲伯老伺、鳥井銀平為伺御機嫌去ル三日御国罷立、今日 晴
 着
 ○廿三日 雲伯老伺 大雨
 ○廿四日 雲伯老伺 一、親和参上 陰雨
 ○廿五日 田中柳宅為伺御機嫌今日到着、雲伯老伺 「織田山城守 晴
 様御出、鸞嘯にて御対面、立軒老御出、杉原養甫伺」
 ○廿六日 雲伯老伺 晴
 ○廿七日 御床揚御祝奥にて 一、仙寿院・雲伯老御出 一、若殿 晴
 様四時御供揃にて御出、奥にて御祝、若狹守様・和泉守様御出、
 奥へ御通 「夕方責馬、御病後初て御覽」
 ○廿八日 雲伯老伺 一、昼之内養春院御出 晴
 ○廿九日 雲伯老伺 一、夕方責馬御覽 朝之内微雨曇

▲五月朔日 雲伯老伺

晴陰夕小雨

- 二日 雲伯老伺 一、就御用平太左衛門被召出 一、暮より三井 孫兵衛参上 「雲伯老二月廿一日夜より五月二日迄毎夜御宿、
 四月廿一日夜は御故障之儀ニ付御宿無シ」 曇晴
 ○三日 無御別条
 ○四日 雲伯老御伺 晴
 ○五日 御祝奥にて例之通 一、昼之内雲伯老御出、御伺 晴
 ○六日 松平讀岐守様御出、鸞嘯閣江御通、御対面、御手熨斗出ル 雨
 ○七日 夕方責馬御覽 晴
 ○八日 就御用平太左衛門被召出 白雨雷声
 ○九日 御步行御願相濟、四ツ時御供揃にて白銀江被為入、七半比 晴
 御帰 「表海御庭口ヨリ御出」
 ○十日 夜入六半過雲伯老御伺 晴陰
 ○十一日 若殿様八ツ時御供揃にて被為入 一、夕方雲伯老御出、 晴夕曇
 伺
 ○十二日 八御供揃白銀へ被為入、御帰夜五半、白銀にて雲伯老伺 晴夜中雨
 ○十三日 無御別条、雲伯老御出 「夜五過地震」 晴
 ○十四日 昼之内仙寿院御出、雲伯老御出 晴
 ○十五日 五時前之御供揃御病後初て御登城 一、昼之内雲伯老御 晴
 出、奥江御通 一、於奥御祝
 ○十六日 平太左衛門出立ニ付於鸞嘯夕方被召出 一、夜中雲伯老 曇晴
 御出、御伺ヒ 「御手熨斗被下之」 終日雨夜ニ入晴
 ○十七日 昼之内備前被召出 一、雲伯老御伺 「曉七比地震」 曇晴
 ○十八日 無御別条 曇晴
 ○十九日 夕方より安藤様・一甫老・宇兵衛殿御出、鸞嘯御通、孫 雨
 兵衛参上 一、雲伯老御出 「昼八時地震」

- 廿日 御病後初而御誹諧ニ付餅字・七太夫・新之允・雞口・葵足
參上 一、石寺甚助於鸞嘯御用 朝曇晴
○廿一日 無御別条 曇
○廿二日 四時御供揃石小田江被為入 「御帰之上雲伯老御伺」 晴曇
○廿三日 九半御供揃白銀へ被為入 「朝五時前地震」 晴
○廿四日 昼之内雲伯老御伺 一、備前御用ニ付被召出 晴
○廿五日 夜五ッ過雲伯老御出、御伺 陰小雨
○廿六日 夕方御誹諧、長春・存義・樓川・雞口參上 曇小雨
○廿七日 雲伯老御伺 曇小雨
○廿八日 昼之内御用ニ付備前鸞嘯ニ被召出 朝より曇夕方雨 陰小雨
○廿九日 昼之内御用ニ付於鸞嘯閣備前召出 陰小雨
○晦日 雲伯老御出、御伺 雨
▲六月朔日 五時前御供揃御登城 一、今日より塔焉御住居ニ成、鸞嘯閣御平日之通 曇小雨
○二日 夕方御誹諧、柳生但馬守様御出、長春・七太夫・新之允・雞口・葵足參上 一、雲伯老御伺 曇小雨
○三日 四半御供揃ニて白銀へ被為入 陰晴
○四日 無御別条 曇雨
○五日 無御別条 雨
○六日 与左衛門・七太夫參上、御会読 晴陰
○七日 若殿様被為入 晴陰
○八日 四ッ時揃ニテ諸御礼被為受 一、松岡久左衛門出立ニ付於表海被召出 一、御誹諧、長春・榮庵・閑徳・七太夫・樓川・葵足參上 雨
○九日 四ッ時御供揃ニて白銀へ被為入 晴
○十日 無御別条 「雲伯老御伺」 陰
○十一日 無御別条 曇
○十二日 御会ニ付太冲參上 晴

- 十三日 夕御誹諧、長春・新之允・存義・雞口參上 晴陰
○十四日 若殿様被為入 陰晴
○十五日 御祭礼ニ付御祝奥ニて 晴
○十六日 御登城御断 晴朝霧
○十七日 昼之内備前御用ニ付被召出 朝曇屋より晴
○十八日 多門・尉太夫出立ニ付於塔焉召出 一、昼之内備前御用ニて召出 晴
○十九日 四時御供揃白金江被為入、御出掛井上千郎右衛門於小書院ニ御目見 晴陰
○廿日 夕御誹諧、加藤登之助殿・最上内膳殿御出、田且・七大夫・雞口參上 陰晴風
○廿一日 無御別条 陰已刻後雨
○廿二日 御会ニ付太冲參上 終日曇昼之内雨
○廿三日 内藤因幡守様御卒去被成候ニ付、半限之御忌服被為受、今日より日数五日 「暁七時前地震、備前召出」 陰雨
○廿四日 無御別条 陰
○廿五日 若殿様被為入 一、養春院・雲伯老御出、御伺 一、今日土用入午刻 陰雨
○廿六日 太冲參上、御会 陰夕微雨
○廿七日 無御別条 陰
○廿八日 四ッ半時御供揃ニて白銀へ被為入 晴
○廿九日 昼之内良策老御出、御伺 一、昼之内茂助塔焉ニ召出 晴
▲七月朔日 御登城 一、雲亮老御出、伺 一、雲伯老御出 陰
○二日 於表海御内書御頂戴 一、於板床ニ御献上之品御覽 一、三淵伊織助着ニ付塔焉ニ被召出、御手熨斗被下 陰晴夜中雨
○三日 御用ニ付伊織助塔焉召出 陰風
○四日 御誹諧、柳生但馬守様御出、長三・意泉・樓川・葵足參上 晴
○五日 夕方ヨリ安藤対馬守様・堀本一甫老御出、塔焉ニ御通 晴

- 六日 太仲・七太夫参上、御会 晴
 ○七日 御登城御断 一、御祝奥にて例之通、一、夕方雲伯老・雲亮老御伺 白雨雷声
 ○八日 九半御供揃白銀へ被為入 曇冷
 ○九日 昼之内田邊孫兵衛着ニ付塔焉ニ被召出 冷終日曇昼比小雨
 ○十日 無御別条 陰夕方小雨
 ○十一日 六時前之御供揃にて松平周防守様御対客御勤被遊 一、五半時御供揃ニ阿部豊後守様御登城前被遊御勤、御対面無シ
 大雨昼四比より雷
 ○十二日 伊織之助塔焉ニ被召出 一、夕方太仲・七太夫参上、御会 一、夕方雲亮老御出、御伺 晴曇
 ○十三日 無御別条 陰晴曉八半過地震
 ○十四日 雲伯老御出、御伺 曇り夜中雨
 ○十五日 昼之内御祝於奥「一、夕方雲亮老御出」 雨
 ○十六日 太冲参上、御会説 一、雲亮老御出、一、夕方雲伯老御出 雨
 ○十七日 御献上物御覧 一、津輕良策老御出、塔焉ニ御出、御伺 夜中雨晴
 一、夕方御誂諸、長春・新之丞・葵足参上 夜中雨晴陰
 ○十八日 昼之内渡邊立軒老御出、於塔焉御対面 朝陰昼より晴
 ○十九日 夕方雲亮老御出 晴
 ○廿日 無御別条
 ○廿一日 雲亮老御出、塔焉ニ御通 一、靜證院様為御伺夕七時比より被為入 一、新御屋形江も被為入、御帰四半 晴
 ○廿二日 無御別条、一、夕方雲伯老御出、御伺 晴
 ○廿三日 夕方雲亮老御出、塔焉ニ御通 晴
 ○廿四日 雲亮老御出、塔焉ニ御通 一、九半御供揃にて白銀へ被為入「新居群助明日出立ニ付伺、塔焉ニ被召出」 晴陰白雨
 ○廿五日 九時御供揃石小田へ被為入 陰晴雨
 ○廿六日 雲亮老御出、塔焉ニ御通 一、御会ニ付太仲・七太夫参

- 上
 ○廿七日 夕雲伯老御出、塔焉ニ御通 陰雨
 ○廿八日 五前之御供揃にて御登城 一、夕方與左衛門参上、御会 陰雨
 説 一、夕方雲亮老御出、御観 陰晴
 ○廿九日 無御別条 小雨夕晴
 ▲閏七月朔日 御登城無 一、昼之内雲亮老御出、御伺 一、夕八ッ比雲伯老御出、御観 一、昼之内伊織助於塔焉召出 陰晴
 ○二日 御誂諸、柳生但馬守様御出、長春・意泉・新之丞・存義・雞口参上 晴
 ○三日 九ッ時御供揃にて白金へ被為入 晴暑強夜中暫雨
 ○四日 無御別条 陰小雨
 ○五日 雲雀御拝領、上使大久保又左衛門殿御出、御取持戸田五助殿御出 一、御足痛にて御登城無之、御名代細川若狹守様 一、明六日備前罷立候ニ付暮比於塔焉召出 一、雲伯老御出 一、昼之内雲亮老御出 小雨陰晴
 ○六日 御会ニ付与左衛門・七太夫参上 晴夜中曇
 ○七日 夕方雲伯老御出、御伺 朝陰五半比より大雨夕晴
 ○八日 夕方雲亮老御出 晴
 ○九日 夕方松平大学頭様・酒井雅楽頭様・堀田相模守様・堀本一甫老・林宇兵衛殿御出、鸞嘯ニ御通、三井孫兵衛参上 晴
 ○十日 無御別条 晴
 ○十一日 四半御供揃にて靜證院様へ被為入、直田町御屋敷へ被為入 朝霧昼より晴
 ○十二日 御会説ニ付太仲参上 晴
 ○十三日 御誂諸、柳生但馬守様御出、存義・葵足参上 晴夜雨
 ○十四日 昼之内伊織助・石寺甚助塔焉召出、一、夕方雲伯老御出 曉雨昼前より晴
 ○十五日 五前御供揃にて御登城 晴夕八半過地震
 ○十六日 太仲・七太夫参上、御会 陰

- 十七日 無御別条 晴
 ○十八日 四ツ時御供揃ニテ山王江御社参 晴陰夜中雨
 ○十九日 雲雀御披メ 一、夕方仙寿院父子・雲伯老御出、塔焉ニ 陰晴
 御通
 ○廿日 御誹諧、長谷川太郎兵衛殿・加藤登之助殿・最上内膳殿御 陰
 出、小坂長春・近藤意泉・石井永庵・七太夫・葵足参上
 ○廿一日 無御別条 雨
 ○廿二日 太仲・七大夫参上、御会 雨冷
 ○廿三日 無御別条 雨冷
 ○廿四日 昼之内石井茂助塔焉ニ召出 雨
 ○廿五日 九時御供揃ニテ白銀江被為入 朝雨昼より晴
 ○廿六日 太仲・七大夫参上、御会 一、夕方雲伯老御出 晴
 ○廿七日 昼之内三淵伊織助・石井茂助塔焉ニ召出 晴
 ○廿八日 御奥江畚初君様被為入 朝曇五半比より雨
 ○廿九日 無御別条 雨冷
 ○晦日 昼之内伊織助塔焉ニ召出 一、夕方雲亮老御出 雨
 ▲八月朔日 昼之内御祝御奥 一、雲伯老・雲亮老御出、塔焉ニ御通 雨
 一、夕方御誹諧、存義参上 朝雨昼より晴
 ○二日 昼之内伊織助召出、一、夕方御誹諧、長春・雞口・葵足参 風雨昼より晴
 上
 ○三日 七大夫参上 陰晴夜中雨
 ○四日 夕方雲亮老御出、塔焉ニ御通 雨冷
 ○五日 昼之内茂助於塔焉召出 一、暮前雲伯老御出 雨冷
 ○六日 御会ニ付太仲参上 雨
 ○七日 無御別条 雨
 ○八日 昼之内伊織助召出、一、富三郎参上 雨
 ○九日 昼之内伊織助塔焉召出 晴
 ○十日 四時御供揃ニテ白銀江被為入 晴
 ○十一日 昼之内伊織助・石寺甚助召出 一、藤崎御祭礼ニ付於御 晴

- 奥御祝
 ○十二日 於板床御献上之品御覽 一、於塔焉伊織助召出 一、夕 朝陰晴
 方御会ニ付太仲・七大夫参上「雲亮老御出」
 ○十三日 諸御礼被為受 一、昼之内雲伯老御出、塔焉ニ御通 陰晴
 暮六時過地震、朝暫ク小雨昼晴夜晴陰
 ○十四日 夕方雲伯老御出 晴
 ○十五日 御登城無シ 晴夕方より少陰
 ○十六日 太仲参上御会 一、雲伯老御出、塔焉ニ御通 「十六日 陰小雨
 閏七月廿八日夜熊本大火之由今日御飛脚到着」
 ○十七日 夕方金子童婦・三井孫兵衛参上 雨
 ○十八日 無御別条 「閏七月廿八日夜熊本出火今日御用番様へ御 朝雨昼より晴夜中快晴
 届被遊」 陰晴
 ○十九日 無御別条 陰晴
 ○廿日 夕方雲伯老御出 晴
 ○廿一日 無御別条 陰晴夜快晴
 ○廿二日 夕太仲参上御会 陰七半比より小雨
 ○廿三日 昼之内細川玄蕃頭様馬場口より御出、於奥御対面 風雨
 ○廿四日 雲伯老御出、御伺ヒ 一、富三郎参上、鸞嘯ニ召出 終日陰小雨
 ○廿五日 御誹諧、長春・意泉・七太夫・雞口・葵足参上 小雨陰
 ○廿六日 太仲・七大夫参上、御会 一、渡邊立軒老夕方御出、塔 陰
 焉御通
 ○廿七日 四半時之御供揃ニテ白銀ニ被為入、一、御出前七大夫参 晴夜ニ入暫曇
 上
 ○廿八日 無御別条 陰
 ○廿九日 昼之内伊織之助塔焉召出 晴陰
 ▲九月朔日 御登城無シ 一、雲伯老御出、一、伊織助塔焉ニ召出 晴

- 二日 御俳諧ニ付新之丞・存義・樓川・意泉參上
「夜九過地震」陰雨夕晴
- 三日 四半時御供揃ニテ石小田へ被為入 晴
- 四日 夕方雲伯老御出、御伺ヒ 終日陰昼小雨
- 五日 無御別条 陰
- 六日 與左衛門參上、御会読 晴
- 七日 雲伯老御出、御伺ヒ 晴
- 八日 無御別条 晴夜半より雨
- 九日 昼之内於御奥御祝、一、夕方雲伯老・雲亮老御出、御通 雨夕陰
- 十日 服部小太郎參上、召出 陰晴交ル夜中雨
- 十一日 無御別条 陰七時比より雨
- 十二日 無御別条 陰晴風
- 十三日 夕方仙寿院御出、塔焉ニ御通 晴
- 十四日 昼之内塔焉ニ伊織助召出 晴
- 十五日 五前御供揃ニテ御登城、一、夕雲伯老御出、塔焉ニ御通 陰晴
- 十六日 御会、太仲・七大夫參上 雨
- 十七日 良策老御出、塔焉ニ御通 一、四半御供揃ニテ白銀江御出「曉八半比地震佐」 晴
- 十八日 夕方雲亮老御出、御通 晴
- 十九日 無御別条 朝霧深昼晴夜陰
- 廿日 御俳諧ニ付柳生播磨守殿・加藤登之助殿・最上内膳殿・兼康栄元老御出、長春・永庵・閑徳・七大夫・雞口參上 一、夕方雲伯老御出、塔焉ニ御通 朝陰晴風
- 廿一日 昼之内伊織助塔焉召出 晴夕方ヨリ陰
- 廿二日 四時御供揃ニテ松平薩摩守様へ被遊御出、直ニ田町御屋敷被為入 朝より雨夕方雨止陰夜晴
- 廿三日 無御別条 晴
- 廿四日 昼之内伊織之助召出 一、夕方富三郎參上、御仕舞被遊、一、暮過甚助御用ニテ召出 晴陰
- 廿五日 五ッ時御供揃ニテ白銀へ被為入 一、雲亮老御出、奥ニ御通 朝より曇昼より雨
- 廿六日 御会読ニ付太仲・七大夫參上 一、雲伯老御出、塔焉ニ御通 晴
- 廿七日 御俳諧ニ付長春・永庵・七大夫・新之允・葵足・雞口參上 晴
- 廿八日 九ッ時御供揃ニテ大塚江被為入、一、竹原勘十郎着ニ付御出前塔焉ニ被召出、御手熨斗被下之 晴
- 廿九日 昼之内御病後初て御庭之稻荷御參拜 一、伊織助塔焉ニ被召出 一、夕服部小太郎・七大夫父子參上、仕舞御覽 一、今晚於御奥御月見 晴夕七比より雨七半比より晴
- 晦日 無御別条 朝雨昼より止夜晴
- ▲十月朔日 五ッ時前之御供揃ニテ御登城 一、御会ニ付太仲參上 一、伊織助御用ニ付塔焉ニ召出 一、雲伯老御出、塔焉ニ御伺ヒ 朝より曇昼比雨夕方暫晴夜中雨
- 二日 御俳諧ニ付長春・新之丞・樓川・葵足參上 晴
- 三日 七大夫參上 晴
- 四日 四時御供ニテ妙解院・清光院・少林院御仏詣、夫より直猿町江被為入「靜證院様・若殿様へも被為入」 晴
- 五日 夕方太仲參上、御会 一、雲伯老御出、御通 晴
- 六日 四半御供揃白銀へ被為入「六日 夜九半比霰山ノ手方氷」 陰
- 七日 夕方奥村寛秀參上、伺被仰付 一、玄猪ニ付御規式例之通、御出座無、御祝御奥 晴
- 八日 無御別条 霜晴
- 九日 昼之内伊織助御用ニ付召出 霜晴

○十日 無御別条

○十一日 九半御供揃白銀へ被為入

霜晴

○十二日 與左衛門・七太夫參上、御会読

晴

○十三日 雁御拝領、上使大嶋雲平殿、御取持長谷川太郎兵衛殿

一、御足痛ニ付御廻勤若狹守様江御頼 一、雲伯老御出、嗒焉
ニ御通

○十四日 夕方御誹諧、長春・七大夫・鶏口・葵足參上 陰夜微雨

○十五日 御登城無シ 一、喜十郎様今日初て御目見相濟、御退出

より直ニ御出、奥江御通、「伊織之助昼之内召出」 陰雨

○十六日 御会ニ付太仲・七太夫參上

晴

○十七日 無御別条

霜晴

○十八日 無御別条

朝より雨

○十九日 四半御供揃白銀江被為入

晴

○廿日 昼之内伊織助嗒焉ニ召出 一、夕方御誹諧ニ付餅字・鶏口
參上

○廿一日 夕方太仲・七太夫參上、御会

晴

○廿二日 御俳諧ニ付戸田久次郎殿・津田外記殿・林宇兵衛殿御出、
長春・閑悦・七大夫・雞口・温克・葵足參上

晴

○廿三日 五時御供揃石小田江被為入

晴表海薄水

○廿四日 夕方富三郎參上

晴水

○廿五日 無御別条

晴

○廿六日 夕方御会、太仲・七太夫參上

晴

○廿七日 五時御供揃白銀へ被為入

霜晴夜霰

○廿八日 御拝領之雁御披例之通 一、仙寿院・雲伯老嗒焉ニ御通

霜晴

○廿九日 昼之内渡辺立軒老御出、御通 一、若殿様被為入 一、昼
之内伊織之助召出 一、暮過甚助召出、「朝薄氷亥刻地震」

晴

○晦日 無御別条

晴水

▲十一月朔日 無御別条

初雪、晴暖

(四〇)

○二日 御誹諧ニ付宝生新之丞・樓川・葵足參上

晴暖

○三日 七太夫參上

晴陰朝之内雪

○四日 御会ニ付与左衛門・七太夫參上

晴霜水

○五日 四時揃御礼被為受候

晴霜

○六日 四半時御供揃白銀江被為入 「六日 小林左七左衛門於鸞
嘯被召出、御手熨斗ハ不被下、御居間へ出置迄」○七日 丹羽加賀守様・稻葉丹後守様御誹諧ニて初て御出、戸田久
次郎殿・津田外記殿・橋隆庵老・堀本一甫老・兼康栄順老御出、
長春・永立・永庵・ ・雞口・温克・葵足・多羅尾永了參上

「初雪ニ付て御機嫌伺ヒ、深尾権大夫殿」 雪水夕方晴

○八日 夕方雲伯老御出

霜水晴

○九日 無御別条

晴霜水

○十日 昼之内伊織助嗒焉ニ召出 一、夕方鸞嘯ニて御俳諧、存義
・可因參上

晴霜水

○十一日 無御別条

晴霜水

○十二日 夕方太仲・七大夫參上、御会

晴霜

○十三日 無御別条

晴霜

○十四日 無御別条

晴霜

○十五日 御登城無シ

晴霜

○十六日 御会ニ付与左衛門・七大夫參上 一、夜ニ入口野政右衛
門出立ニ付鸞嘯ニ召出

朝雨昼晴

○十七日 夕方御俳諧、樓川・雞口參上 一、夕方雲伯老御出、御
伺ヒ

朝霜昼より風

○十八日 四時御供揃石小田江被為入 「亥六刻寒入」

晴霜水

○十九日 夕方雲伯老御出、御伺

晴霜暖

○廿日 御誹諧ニて松平伊勢守殿・加藤登之助殿・兼康栄元老御出、
葵足參上

朝晴昼より曇雨

○廿一日 高源院・妙解院・圭宗座元・柳生播磨守殿・林宇兵衛殿

御出、七大夫・太冲・孫兵衛・一郎兵衛・服部真藏・大倉弥太夫・百庵・服部小太郎・下石玄水参上

○廿二日 御会談、太冲・七大夫参上

○廿三日 御前様江今日年始之御膳被進候

○廿四日 四ツ時御供揃ニて若殿様被為入 一、昼より御俳諧ニ付

存義・可因参上

○廿五日 無御別条

○廿六日 夜ニ入雲伯老御出

○廿七日 四時御供揃白銀へ被為入

○廿八日 昼之内伊織助塔焉召出 一、夕方御会ニ付太冲・七大夫

「巳ノ刻前地震」

○廿九日 無御別条 「巳ノ刻過地震」

○晦日 無御別条

▲十二月朔日 五時前之御供揃御登城 「朔日雲伯老御出、夜五時前

地震」 水晴霜

○二日 昼之内御献上之品御覽 一、夕方御誹諧ニ付長春・新之允

・鶏口・葵足参上

○三日 無御別条

○四日 無御別条 晴霜風薄氷

○五日 無御別条 朝曇晴霜

○六日 大冲・七大夫参上、御会 晴陰夜雨

○七日 無御別条 「末松左助着□召出」 曇後晴

○八日 御献上之品御覽 一、塔焉ニて伊織助召出 一、夕方御誹

諧、存義・可因参上 薄霜晴

○九日 無御別条 晴霜

○十日 四半時之御供揃白金へ被為入、御帰夜五半時前 一、御出

前御献上物御覽 霜晴曇交

○十一日 無御別条 晴霜氷

○十二日 昼之内甚助塔焉ニ召出 一、夕方御会ニ付太冲・七大夫

参上

○十三日 御煤払、奥ニて御祝

○十四日 昼之内仙寿院御出、於塔焉御対面 一、夕方御誹諧ニ付

餅字・葵足・雞口参上

○十五日 御登城無シ 一、御生身玉為御祝義、若殿様・説姫様よ

り御着御進上被成候、於御奥被遊御祝候 晴

○十六日 昼比渡辺立軒老御出、塔焉ニ御通り 一、夕方御会ニ付

与左衛門・七大夫参上 晴霜昼より曇夕より雨

○十七日 無御別条 朝曇後晴暖

○十八日 節分ニ付諸事例之通、御出座無シ、御祝ヒ奥 晴霜氷

○十九日 四半時之御供揃白金へ被為入、直ニ猿町へ御出、御帰四

時比 晴夕曇雨

○廿日 夕方御誹諧、兼康栄元老御出、長春・雞口参上 晴風氷

○廿一日 無御別条 曇寒風氷

○廿二日 昼之内塔焉ニて伊織助被召出 寒晴氷

○廿三日 大仲参上、御会 一、夕方雲伯老御出 晴陰風

○廿四日 若殿様被為入 一、伊織之助御用ニ付召出 一、富三郎

参上 晴陰夕雨

○廿五日 御俳諧、永庵・存義・雞口・可因・葵足参上 陰晴風氷

○廿六日 昼之内伊織助御用ニて召出 一、夕方御会、太冲参上

晴霜氷風

○廿七日 無御別条 霜氷晴

○廿八日 御誕生日ニ付御祝奥 一、夕方雲伯老御出、塔焉ニ御通

晴霜氷

○廿九日 昼之内末松左助・石井茂助召出 一、今晚於表海御祝例

之通、尤御出座無シ 「□地震」 晴陰暮前より雨風

朝より曇昼比雪夜中晴

曇朝少雪後晴風

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

晴霜氷

【参考】

細川氏略系図

（新田支藩）

